



活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

令和6年 11月		令和6年 12月		令和7年 1月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	金	1	日	1	水
2	土	2	月	2	木
3	日	3	火	3	金
4	月	4	水	4	土
5	火	5	木	5	日
6	水	6	金	6	月
7	木	7	土	7	火
8	金	8	日	8	水
9	土	9	月	9	木
10	日	10	火	10	金
11	月	11	水	11	土
12	火	12	木	12	日
13	水	13	金	13	月
14	木	14	土	14	火
15	金	15	日	15	水
16	土	16	月	16	木
17	日	17	火	17	金
18	月	18	水	18	土
19	火	19	木	19	日
20	水	20	金	20	月
21	木	21	土	21	火
22	金	22	日	22	水
23	土	23	月	23	木
24	日	24	火	24	金
25	月	25	水	25	土
26	火	26	木	26	日
27	水	27	金	27	月
28	木	28	土	28	火
29	金	29	日	29	水
30	土	30	月	30	木
		31	火	31	金

※主な行事を掲載しています。日程が変更となることもありますので個別案内をご確認ください。

TKC北海道

かいほう

2024.10.31
第257号



Chance, Change and Challenge
TKC HOKKAIDO

TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1大同生命札幌ビル13階
TEL(011)222-8505 FAX(011)222-8622
https://www.tkc.jp/hokkaido



発行責任者/本間 貴久 編集責任者/坂本 文彦 印刷所/株式会社メディアプラネット



秋季大学(北見)にて 左から、齊藤将基福島センター長(前 旭川センター長)、坂本孝司TKC全国会会長

CONTENTS

●巻頭言 本間会長は皆さまをお待ちしております…………… 02	●早期経営改善計画策定支援NEWS…………… 23
●TKC北海道会第52回定期総会が開催されました… 06	●モニタリング情報サービスNEWS…………… 24
●令和6年「TKC全国会バッジ」 貸与者名簿が掲載されています…………… 08	●支部例会・研修会だより…………… 26
●令和6年「TKC全国会バッジ」貸与者名簿…………… 09	●TKC北海道会帯広支部 第2回DX事例研究会… 36
●4,750名の会員を令和6年「TKC全国会バッジ」 貸与会員として認定し、名簿をProFITに掲載しました… 10	●TKC北海道会帯広支部 第3回DX事例研究会… 37
●2024年度第2回 推進友の会全道代表幹事会報告… 13	●令和6年書面添付実践件数…………… 38
●公表会員 翌月巡回監査率(令和6年9月末日時点)… 15	●あの人は今…………… 40
●秋季大学フォトアルバム…………… 17	●シローちゃんの定期総会に行ってみた…………… 42
●研究会のご紹介 TKC全国会社会福祉法人経営研究会…………… 19	●令と6年10月 株式会社TKCの支援体制…………… 45
TKC北海道租税判例研究会について…………… 21	●北海道会 会務動向…………… 46
●道内金融機関MIS対応状況一覧表…………… 22	●編集後記…………… 47
	●活動予定カレンダー…………… 48

eひと・eはなし

●広報委員長/坂本 文彦…………… 44

TKC北海道会副会長・全国会NMS委員長

甲賀 伸彦

TKC全国会において、ニューメンバーズ・サービス委員会(以下、NMS委員会)は平成3年11月に発足されました。平成4年2月の第1回NMS委員会で、栗飯原一雄会員(初代NMS委員長)はNMS委員会の役割について、次のようにあいさつされています。

「(前略)TKC会員の増強ならびに新入会員への支援活動は、TKC全国会、株式会社TKCの共通の課題であり、より効果的に連携するために委員会の設置を提案され、第51回全国会理事会で承認されました。当委員会の役割の一つは、新入会員の支援対策、もう一つは会員拡大の援助であります」。

以来、NMS委員会は、次の2点を職務(TKC全国会会務執行規則第21条)として、株式会社TKCと密接に連携を取りながら活動しています。

- ①新入会員(入会后概ね3年以内)の支援に関する事項
- ②会員増強の支援ならびに情報提供に関する事項

NMS委員会が創設されるまでの経緯は、TKC全国会の起源までさかのぼります。

飯塚毅名誉会長は「見ない人には実在しない運命の岐路」と喝破(かっぱ)され、昭和37年に米国の会計人業界で起きたことが日本にも必ず訪れると、対策を講じなければいけないと訴えました。



昭和44年から46年にかけて、飯塚名誉会長は『電算機利用による会計事務所の合理化』をテキストにして、会員導入セミナーで全国を駆け回ったそうです。やがて、全国各地でTKC会員事務所が増加していき、自然発生的に地域会の結成が進み、TKC全国会の結成を待ち望む気運が高まってきました。

TKC全国会の結成を決定した第1回TKC全国代表者会議(昭和46年8月17日)では、TKC会員事務所が一定数(200件)を超えた地域会から、TKC情報センター(当時は計算センター)を設置するという基本方針が打ち出されました。

この基本方針に従って、全国各地で一斉に会員による導入活動の幕が切って落とされたのです。これと並行して、昭和47年3月にオリベッティ社との業務提携によって会員導入活動は強力に進みました。また、昭和50年は導入委員会が立ち上がり

(昭和54年に解散)、平成以降はSCG社員が会員導入活動の業務に携わってきた、という経緯があります。

飯塚名誉会長による会員導入セミナーは「実地講習会」と呼ばれ、参加した会計人の心を揺さぶる強烈なインパクトがあったそうです。会員が増えていくにつれて、飯塚名誉会長がすべての実地講習会をお一人で担うのが難しくなり、各地域会会長がそれぞれの地域会で実地講習会講師を務めることになりました。

ただ、時がたつにつれて、地域によって実地講習会の開催頻度と内容にばらつきが出てきました。そこで、平成4年4月から「新実地講習会」として全国でスタイルを統一しました。平成6年に全国会常務会の諮問機関として設置された戦略特別委員会で、新実地講習会を見直し、現在のスタイルが確立されました。

翌7年から全地域会の新入会員とその配偶者を東京に招いて、2日間にわたる「TKC全国会入会セミナー」を集中的に行い、受講会員は、その後地元地域会で開催される「ニューメンバーズ実務セミナー」(以下、NM実務セミナー)を受講することになったのです。

NMS委員会では、このNM実務セミナーを担当し、新入会員が巡回監査体制の構築とTKCシステムを徹底活用することで、事務所経営を大成功していただきたいという祈りをもって、最新の情報を盛り込んだテキストである『TKCニューメンバーズ実務セミナーテキスト』を作成し、都度改訂(現在、第19版)し続けています。

これまでのNMS委員会の活動の中で、二つのトピックを紹介したいと思います。

一つ目は、新入会員の支援として行われている、「ニューメンバーズフォーラム」(以下、NMフォーラム)です。

NMフォーラムは、1996年から毎年開催し、2023年までの開催で延べ1万6千名超のニューメンバーズ会員が参加しております。ニューメンバーズ会員が、理想の事務所を構築するために夢を持ち、それに向かって決断し、かつ挑戦することで、未来をつかみ取っていただきたい。また、ご家族や職員の皆さまに誇れるような仕事をさせていただき、中小企業はもとより、地域社会の発展にも貢献していただきたい、というのが目的です。これからもニューメンバーズ会員のために、このNMフォーラムを開催し続けていきたいです。

二つ目は、会員増強支援の視点として、「会員1万名超体制の達成」です。

飯塚名誉会長は、平成5年6月の檄文「何故TKC会員1万名超体制を訴えるのか」、また平成6年7月15日に開催されたTKC全国役員懇話会において、「租税正義の実現を図るためには、社会的影響力を強化しなければならない。社会的影響力とは、関連諸法規、法令などの改正だけではなく、TKC会計人が中小企業の健全な育成を行い、地域において実質の影響力を持つことである。そのためにはTKC会員1万名超体制を構築しなければならない」と提言されました。

平成21年6月23日、TKC全国会と株式会社TKCが一丸となり、悲願であった「TKC会員1万名超体制」を実現しました。それから3年後、平成24年からTKC全国会は「TKC会員事務所1万事務所超体制の構築」を目指して活動しています。

NMS委員会は、TKC全国会の組織体制を維持・強化するために、新入会員がすてきな会計人になっていただくべく支援を強化し、地域社会に貢献し、そして真に感謝・信頼・尊敬される会員・組織を作っていくことに貢献していきたいと思っています。

そこでまず、坂本孝司全国会会長が提唱する「税理士の未来」の実現へ向けて、われわれNMS

委員会が今後どのように取り組んでいくべきかを検討しました。

現在の税理士業界は、税理士試験の受験者・合格者が減少しています。また、試験に合格しても、税理士法人や監査法人に就職、企業内にとどまるという資格者が多いため、新規開業が減少し、個人事務所は減少傾向にあります。この状況下で、会計事務所へ就職を希望する方々も少なくなり、人材不足の問題がTKC会員事務所の中でもささやかれるようになってきました。

また、税理士の高齢化、事務所の後継者問題が顕在化しており、後継者問題を解決するため、税理士事務所の合従連衡が進んでいます。結果、個人事務所が減少し、比較的中、大規模な税理士法人が増加しています。

しかしながら、坂本会長の打ち出す方向性「税理士の未来」は、税理士の存在意義が社会からの納得を得られる最大で最後のチャンスであると感じています。同様に、会計事務所の事業承継問題に取り組まなければ、地域における中小企業支援の担い手が消えてしまいかねないと感じます。やはり、一人でも多くのTKC会員を誕生させ、活躍してもらう必要があると思っています。

そこで、坂本会長が唱えた「職業会計人が勝ち残るための3つの条件」をNMS委員会としてどのように捉えていくかが課題となります。

1. 組織化

一もっと広く税理士・公認会計士に呼びかける必要がある！

飯塚名誉会長が昭和52年2月15日号のTKC会報「現状肯定の理論とエゴの問題」の中で、「TKC入会の起因は何か」という章があり、以下のことを述べられました。

「私はTKC入会の起因は、打算意識、損得勘定

であるほうがむしろ自然だとさえ考えます。(中略)しかし、大多数の会員は、入会時の打算意識から、徐々に、使命感への発見へと蟬脱(せんだつ)しつつあります」と。TKCの各支部において、この会報をニューメンバーズ・サービス委員に読んでもらい、広く会員増強支援活動のきっかけにしていきたいと思います。

2. 社会の納得

一未入会の方々へ「情報の非対称性」を伝える必要がある！

税理士業界と社会との間に「情報の非対称性」があるのと同時に、TKC会計人と未入会の方々との間にも「情報の非対称性」が存在すると思われる。TKC会員が実践している業務を社会や未入会の方々にも正しく伝える必要があると思います。

3. 現代の業務への適応・新しい業務の開始

一TKC50周年の節目！

未入会セミナーなどで税理士・公認会計士へ、広くTKC会計人のビジネスモデルをお伝えしていますが、TKC50周年の一つの区切りとして会員事務所を1万超にすることが必要だと思っています。

これらの勝ち残る3つの条件の下、NMS委員会は、以下のことを未来に向けて実践する必要があります。

DXが発展していくと、「記帳代行と税務申告だけを専門とする会計事務所」は急速に衰退していくと思います。記帳代行というニーズそのものはなくなってしまうと思いますが、記帳代行の大部分はかなり会計システムで合理化できるようになるはず。税理士とDXは敵対する関係ではなく、会計事務所も関与先企業もその技術を積極的に取り入れて合理化する。

そして、税理士は「税務」「会計」「保証」「経営助言」の業務領域において、相互の知見を持ち寄ることで業務品質を向上させ、社会から必要とされ、時代ごとの経済環境に適応できれば、将来にわたって税理士が社会から必要とされる条件が整うと考えます。それを可能とするのはTKC会計人だけだと思っています。

(1)ニューメンバーズ会員の「税理士の4大業務」の実践を支援する

ニューメンバーズ会員の「税理士の4大業務」の実践を支援することで、新たに「現代の業務への適応・新しい業務の開始」する会員を増やすことが私たちのミッションとなります。

(2)「勝ち残るための3つの条件」を達成するため会員増強の支援ならびに情報提供する

広く多くの税理士と共に「事務所経営」と「税理士の未来」を語り合うことで、新たな同志を増やし(「組織化」)、各地域で「社会の納得」を得られるようにすることが私たちのミッションとなります。

未来における税理士の勝ち組を作っていきたい。そして、社会から特に感謝されるのはTKC会計人であってほしいと思います。

TKC北海道会の会員で5年間のNM会員を卒業したあと、しばらくお会いしていない方が多くいらっしゃいます。ニューメンバーズフォーラムやウィンターセミナー、あるいはフォローセミナーで感じたこと、あるいはその講師として皆さまへ発表されたことをもう一度思い出していただき、本間貴久北海道会会長と一緒に進んでいただきたいと思います。



9月14日(土)に開催された「TKCマッチデー(アジアリーグアイスホッケー 2024-2025)」にて(左)レッドイーグルス北海道 入倉大雅選手、(中央)甲賀伸彦TKC北海道会副会長・全国会NMS委員長、(右)H.C. 栃木日光アイスバックス 鈴木健斗選手

TKC北海道会第52回定期総会が開催されました

9月20日(金)午後1時よりホテルモントレーエーデルホフ札幌において、TKC北海道会第52回定期総会が開催されました。

開催当日現在の会員数は444名であり、うち当日本人出席48名、事前に議決権行使書をご提出いただいた会員総数は275名となり、総会は成立する旨の報告がありました。

議事に先立ち、木村聡副会長による物故会員への黙とうが行われ、また、小中昌幸副会長からは新入会員22名が紹介されました。

本間貴久会長が仮議長となり、議長の選出を行いました。会則第14条第4項により、「議長は、出席した個人会員の中から選出する」と定められており、会場の執行部一任との一声により、議長には札幌東支部・佐藤伸泰会員が選出され、議事録署名人に札幌西支部・村岡学会員、小樽支部・西正則会員の2名が選出された後、審議が進められました。

第1号議案 令和5年度の事業報告並びに決算報告承認の件

宮下直樹総務委員長から一括して、事業報告と収支計算書について説明がありました。これに対して、予算超過の項目において、理事会等での手続きについて厳しい指摘があり、今後の予算の流用などの手続きの厳格化が求められました。

第2号議案 令和6年度の事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件

緊縮財政の中予算の縮減には理解するが、研修委員会の予算が大幅に少なくなっていることに質問があり、これについては、コロナ禍に始まったオンデマンド研修補助が一定の役割を終えたことにより、それを当期から計上しなくなったことが大きな原因であるとの回答がありました。

いずれの議案についても、事前に会員からお送りいただいた議決権行使書の多数に賛成の旨が記載されているとの説明があり、賛成多数により

可決承認されました。

議案承認の後の報告事項では、まず会員表彰が行われ、出席した戸井敏夫会員には「TKC全国会入会50年感謝状」が贈呈され、戸井会員からあいさつがありました。

その後の支部活動報告では支部を代表して、北見支部の渡邊直喜支部長より事業報告、活動報告などがありました。

委員会報告は、「租税正義の守護者」となるようキャンペーン、電子納税推進プロジェクトキャンペーンの表彰、TKC強化プロジェクトの「TKC北海道フロンティアプロジェクト」についての報告、それから来年札幌で開催される全国役員大会の組織図の発表などがありました。

最後に閉会のあいさつを澤田忠宏副会長が行い、今年度の総会は予算執行に関して課題を残しましたが、大きなトラブルもなく無事に終了いたしました。

また、定期総会終了後、引き続き北海道政経研究会定期大会が加藤恵一郎会長、斎藤雅昭幹事長の進行により開催されました。

今年は総選挙も予想されており、定期大会の中では北海道政経研究会としての推薦について触れられる場面もありました。議案については、議決権行使書に賛成の旨の記載が多数あり、すべての議案が承認可決され、滞りなく無事に終了いたしました。

(広報委員長 坂本 文彦)



令和6年「TKC全国会バッジ」貸与者名簿が掲載されています

9月26日(木)付のProFIT EXPRESSでご案内の通り、令和6年「TKC全国会バッジ」貸与者名簿が掲載されています。北海道会では186名の会員へ全国会バッジの貸与が行われ、今年度からの新規貸与者は29名となっております。

新たに貸与された会員の皆さまにおかれましては誠にありがとうございます。しかしながら、北海道会全体で考えますと昨年度より引き続き増加はしておりますが貸与割合41.1%(昨年度38.9%)とまだまだ少ない状況が続いております。

TKC全国会バッジの制度は、その目的を「TKC全国会の活動が社会全体から認知・評価される中

で、会員間の格差が生じてきたことは当面する大きな課題のひとつである。このような状況を鑑み、TKC全国会の理念および政策目標を積極的に実践している会員に対して『TKC全国会バッジ』を貸与してこれを顕彰し、併せてこの基準に到達していない会員を啓蒙し、会員全体のレベルアップを図ることを目的とする」としています。

なお、TKC全国会バッジ貸与条件は以下のとおりとなっております、毎年6月末実績での判定が行われることとなっております。

「TKC全国会バッジ」貸与規定

- TKC全国会バッジ貸与認定基準日:毎年6月末締め(前年7月1日～当年6月末日)
- 新規認定要件
第2条(「TKC全国会バッジ」の貸与)
TKCシステムを徹底活用している会員のうち、以下の条件を満たした場合「TKC全国会バッジ」を貸与する。
 - 財務処理件数30件以上を有し、継続MAS、FXシリーズ、TKC方式の書面添付を実践していること
 - TKCモニタリング情報サービス(MIS)を実践していること
 - 生涯研修受講済み事務所であること
 - 経営革新等支援機関の認定を受けていること

TKC北海道会では、昨年度より全国会バッジ貸与割合向上のため、一人ひとりの会員に寄り添いながら行う伴走型支援を開始しております。貸与条件未達会員へは定期的に未達項目の通知を行い、現状把握をしていただきました。この施策については今後も継続して実施し適宜必要な全体研修・

個別支援を行う予定となっております。会員の皆さまにおかれましては、ぜひ、趣旨にご賛同いただき事務所経営の発展、TKC北海道会の社会からの信頼のために貸与割合向上にご協力いただきますようお願い申し上げます。

(総務委員長 宮下 直樹)

令和6年「TKC全国会バッジ」貸与者名簿

令和6年6月末日

TKC全国会 4,750名(内、法人社員型・Ⅲ型会員 1,454名)
(参考:[登録会員 11,400名][昨年貸与 4,343名])

北海道会 186名(内、法人社員型・Ⅲ型会員 49名)
(参考:[登録会員 452名][昨年貸与 171名])

(五十音順 / 敬称略) (★印は新規貸与会員)

1 本間 貴久	29 金坂 和正	57 佐藤 信祐	85 照井 直樹	113 堀内 信吾
2 加藤恵一郎	30 金谷 博光	58 佐藤 孝尚	86 戸井 敏夫★	114 堀内鶴次郎★
3 田中 裕之	31 川井 一男	59 佐藤 達徳	87 戸井 三雄★	115 牧野 秀美
4 荒井 利幸	32 河合 敏	60 佐藤 敏明	88 東城 敬貴	116 松井 克彦
5 五十嵐勝義	33 川崎 努★	61 佐藤 伸泰	89 外館 英樹★	117 松井 眞実
6 池脇 竜太	34 川股 修二	62 佐藤 博嗣	90 中井 宏	118 松田 茂行★
7 石川 透★	35 神田 将吾	63 實吉 孝範★	91 中川 一俊	119 松田 孝志
8 石川 由男	36 北山 幸徳★	64 澤田 忠宏	92 中川 信喜	120 松本 隆臣
9 石田 政士	37 木村 聡	65 東海林直彰	93 中島 茂幸	121 丸山 昭一★
10 市川 善明	38 窪田 洋一★	66 杉下 清次	94 長田 栄吾	122 三上 香織
11 伊藤 文彦★	39 来海 有起	67 鈴江 誠	95 中田 浩貴	123 南 優香
12 井上 理	40 黒田 納規★	68 鈴木 圭介	96 南都 正弘	124 宮下 直樹
13 猪股 冬樹	41 甲賀 伸彦	69 鈴木 久欣★	97 西原 昇一	125 柳橋 琢磨
14 井山 等	42 小島 拓也	70 砂原 政広	98 西 正則	126 八島 依子
15 岩崎 公治	43 小平 康夫	71 住吉 赳夫★	99 西 康子	127 柳川 英樹
16 岩田 圭史	44 小中 昌幸	72 清宮 純	100 西谷 裕幸	128 八幡 吉昭
17 上原 貢	45 小林 史郎★	73 瀬戸口明慶★	101 能任 利明	129 山田 和訓
18 薄井タカ子	46 小林 康弘★	74 高橋 慎吾	102 橋本佐智子★	130 山美 幹生
19 梅田 勇	47 駒井 桂伺	75 竹内 美哉★	103 八森 恵一	131 山谷 謙太
20 蝦名 和広	48 近藤 康範	76 竹川 博之	104 林田 敬二★	132 湯谷 和彦
21 蝦名 朗太	49 斎藤恵美子	77 多田 陽平	105 平田 清悦	133 吉田 淳★
22 大林 慎一	50 斎藤 雅昭★	78 谷口 和雅	106 蛭子井眞市	134 吉田 幸広
23 大平 涉	51 齋藤 豊	79 谷本 倍規	107 廣瀬 晃典	135 李 香純
24 岡崎 正毅	52 坂本 健人	80 田村 栄章	108 深田 陽子★	136 渡漫 直喜
25 小川 裕也	53 坂本 文彦	81 千田 浩文★	109 藤田 時人	137 渡辺 祐吉
26 奥山 昌弘	54 佐々木忠則	82 千葉 寛樹	110 藤谷 満雄	
27 小田 伸一	55 佐々木俊彦	83 出口 秀樹	111 舟橋 馨	
28 尾田 利雄	56 佐々木雅敏	84 寺田 勉	112 細川 拓厚	

法人社員型・Ⅲ型

138 荒井 皓介	148 大塚 克幸★	158 佐藤 理映	168 田中 祥孝	178 中村 宗睦
139 池田 章悟	149 金坂 肇	159 重倉 雅紀	169 谷 勲	179 福田 雄基
140 市川恵美子★	150 河合 淳	160 清水 啓雅	170 谷本 諒	180 干場 慎也
141 伊藤 悟	151 河村 聡子	161 白岩 征之	171 田村 大助	181 南 昇
142 伊藤 貴雄	152 菅野 浩	162 鈴木 崇史	172 鶴間 光★	182 村井 雅之★
143 岩下 誠	153 久々津悦子	163 鈴木 裕章	173 寺田 純子	183 森畑 哲也
144 上嶋 亨	154 近藤 朋子	164 住吉 暢子★	174 戸井健太郎★	184 山美 太生
145 上村 剛	155 坂井 崇晃	165 武石 和昌	175 當眞 嗣隆	185 吉田 知加
146 遠藤 成紀	156 坂本 武	166 竹川 靖之	176 中浦 孝一	186 米田 明広
147 大久保 勉★	157 佐々木俊幸	167 竹中 正美	177 中野 研	

令和6年9月26日

TKC会員 各位

TKC全国会
総務委員会
委員長 西村 剛

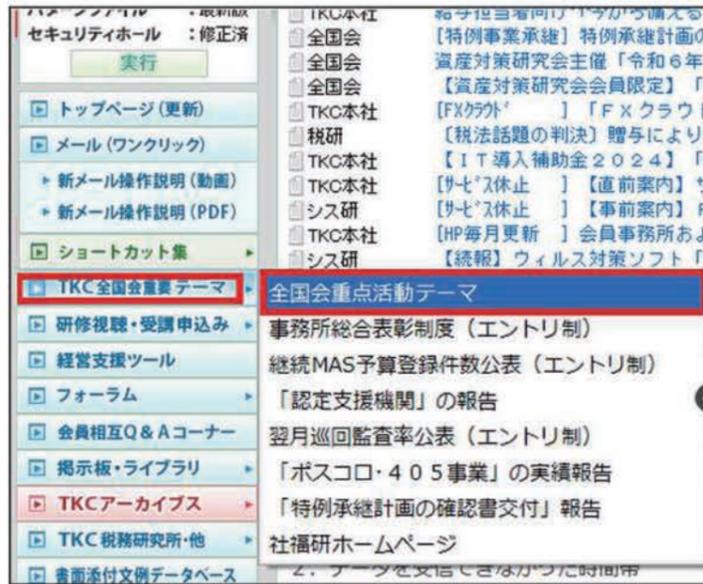
4,750名の会員を令和6年「TKC全国会バッジ」貸与会員として認定し、名簿をProFITに掲載しました。
—TKC全国会バッジ貸与会員割合50%超をめざして—



令和6年「TKC全国会バッジ」貸与会員が確定し、貸与規定に従いProFITに掲載しましたのでご案内いたします。ご確認のほどよろしくお願いいたします。

1. 「TKC全国会バッジ」貸与会員名簿掲載場所

ProFIT「TKC全国会重要テーマ」—「全国会重点活動テーマ」—「貴事務所のKPI」—「表彰地域会・表彰会員一覧表」



2. 本年の貸与会員数

4,750名(新規625名、継続4,125名)(貸与割合42.9%)
(昨年4,343名[新規556名、継続3,787名])

3. TKC全国会バッジについて

TKC全国会バッジは、第95回全国会理事会(平成18年5月25日開催)において承認された制度で、その目的を「TKC全国会の活動が社会全体から認知・評価される中で、会員間の格差が生じてきたことは当面する大きな課題のひとつである。このような状況を鑑み、TKC全国会の理念及び政策目標を積極的に実践している会員に対して「TKC全国会バッジ」を貸与してこれを顕彰し、併せてこの基準に到達していない会員を啓蒙し、会員全体のレベルアップを図ることを目的とする。」としています。(第95回全国会理事会議案書より)

4. 令和6年TKC全国会バッジ貸与条件について【重要】

本年も以下の貸与条件で認定を行っています。なお、認定については令和6年6月末実績で判定を行っています。

〔TKC全国会バッジ〕の貸与

第2条 TKCシステムを徹底活用している会員のうち、以下の条件を満たした場合「TKC全国会バッジ」を貸与する。

- (1) 財務処理件数30件以上を有し、継続MAS、FXシリーズ、TKC方式の書面添付を実践していること
- (2) TKCモニタリング情報サービス(MIS)を実践していること
- (3) 生涯研修受講済事務所であること
- (4) 経営革新等支援機関の認定を受けていること

「TKC全国会バッジ貸与規定」から抜粋

5. TKC全国会バッジ貸与対象者に対する達成目標(努力目標)【重要】

TKC全国会バッジ貸与規定では、第2条第3項「貸与対象者に対する達成目標」において、貸与対象者は所定の項目を達成することを貸与時に確認することとしています。「TKC全国会バッジ」を貸与された皆様におかれましては、貴事務所の実践状況をご確認いただきますようお願いいたします。

3 貸与対象者に対する達成目標

貸与対象者は以下の(1)から(7)までの項目を達成することを貸与時に確認する。

- (1) 翌月巡回監査率80%以上であること
- (2) 企業防衛保有3億円以上であること
- (3) リスマネ代理店登録をしていること
- (4) 経営革新等支援機関の業務を実践していること
- (5) 三共済(小規模企業共済、経営セーフティ共済(中小企業倒産防止共済)、中小企業退職金共済)のいずれかを実践していること
- (6) 「中小会計要領」または「中小会計指針」に準拠した決算書を作成していること
- (7) 地域会、支部活動に参画すること

「TKC全国会バッジ貸与規定」から抜粋

【補足事項】

- ①財務処理件数：直近15か月以内に財務処理または月次更新処理を行った関与先数(ただし、仕訳数0の財務処理または月次更新処理はカウントしない)
※財務三表、個人財務、業種別会計含む
- ②継続MAS件数：継続MASによる残高受信を1件とする。
- ③FXシリーズ：事務所用、法人、個人、業種別を含む。
- ④書面添付の計上基準：TKC方式の書面添付の件数とする。(財務処理連動)
- ⑤認定支援機関の判定：Pr o F I Tで報告していること(支援機関登録、実践報告)
- ⑥第2条第3項の「貸与対象者に対する達成目標」は入会3年目のあるべき会員像をモデルとした。

以上

2024年度第2回 推進友の会全道代表幹事会報告

9月13日(金)、大同生命札幌ビルにて、推進友の会全道代表幹事会が開催されました。全道代表幹事会は、例年4月の企業防衛特別研修会にあわせて年に1度開催していましたが、北海道企業防衛制度推進委員会の「友の会小委員会」の方針で、今年度は複数回開催することとなりました。

また、現役幹事だけでなく、過去の幹事経験者がオブザーバーとして参加するという新たな試みも行いました。

今回の代表幹事会では、今後の活動活性化や支部間連携、研修会の統一化に向けた議論が行われ、友の会活動の重要性とその活性化に向けた具体的な取り組みについて、多くの意見が交わされました。

幹事会の目的と共有事項

まず、伊藤貴雄・友の会小委員長から今回の代表幹事会の目的が説明されました。「発信」「共有」「つながり」をテーマに、幹事会の組織を強化し、部分的にでも統一された体制を築くことで、委員会の施策がより一層浸透することを目指しています。

また、他支部との交流や情報共有を深め、各支

部の活動を活性化させるための支援も行っていく方針を示しました。

統一研修会に関する議論

統一研修会の開催については、研修会を集合形式で行うべきか、Web形式で行うべきか、多くの意見が出されました。集合形式は、参加者が集中しやすい利点がありますが、費用や運営の負担が大きく、すべての会員を集めるのは現実的ではないという意見もありました。一方で、Web形式では集中力に欠けるとの指摘もあり、いずれの形式にも課題が残ることが浮き彫りになりました。

現状では、集合形式の開催は極めて難しいという話になり、友の会研修会で統一したテーマをひとつ設けるということが有力なものとして示されました。

支部間の情報共有と課題

各支部からは、支部間の情報共有の重要性が強調されました。ある幹事から「他の支部の活動を聞く機会が新たな発想のきっかけになる」とし、他支部の取り組みや成功事例を共有することで、活動の活性化が図れるとの提案がありました。



また、支部ごとの活動が固定化している現状を打破するため、委員会からの積極的な働きかけが必要だと意見が多数出されました。

さらに、幹事の参加が固定化していることが問題視され、新たなメンバーの参加を促すための工夫が求められました。委員会や会員からの声掛けを強化し、支部間の垣根を越えた連携を促進する必要があるとされました。

支援策と活動の方向性

幹事会では、今後の支援策として、各支部の活動に対する予算申請や、他支部との交流促進のための補助金が検討されました。また、研修会後の懇親会に対する補助や、遠方からの参加者への交通費補助など、実際の活動を支援するための具体的な施策が提案されました。

今後の展望

代表幹事会終了後、担当委員と代表幹事での懇親会が開催されました。懇親会の席でも幹事の

皆さまと意見交換をいたしました。そこで感じたのは、友の会の皆さまはこの会を本当に真剣に考えて取り組んでおられるのだということです。また会議の中でも意見として挙がりましたが、友の会の幹事だけでは解決するのが難しいこと(幹事の人選や友の会の参加など)については今に始まったことではなく、過去からずっと課題であったようです。一度に改善できることはありませんが、少しずつ課題解決に向けた具体的な支援を委員会としてできればよいと考えています。

この記事を読んでくださった会員の皆さまにおかれましては、今後も友の会の活動にご理解をいただくと共に、これまで以上に職員の皆さまを友の会へ参加させていただければと存じます。

会員、職員も一丸となって北海道会の企業防衛を推進していきましょう!

(企業防衛制度推進委員会副委員長
友の会小委員会担当 伊藤 貴雄)



公表会員 翌月巡回監査率(令和6年9月末日時点)

列	支部会名	会員氏名【敬称略】	平均(過去12ヵ月)	列	支部会名	会員氏名【敬称略】	平均(過去12ヵ月)	列	支部会名	会員氏名【敬称略】	平均(過去12ヵ月)
1	札幌東支部(58名)	寺田 勉	99.0	41	札幌東支部(58名)	本間 崇	22.4	81	札幌西支部(41名)	大塚 克幸	38.9
2		金坂 和正	67.3	42		上田 陽介	100.0	82		鈴江 誠	42.6
3		藤田 時人	68.6	43		小林 崇	14.8	83		河村 聡子	75.4
4		加藤恵一郎	98.4	44		宮下 直樹	87.6	84		松井 克彦	65.0
5		矢萩 努	100.0	45		吉川 直宏	50.0	85		戸井 正人	33.0
6		小平 康夫	63.6	46		戸井 敏夫	54.6	86		村岡 学	6.1
7		佐々木俊彦	94.3	47		坂本 文彦	98.6	87		川端 忠範	64.0
8		五十嵐勝義	97.7	48		岩田 圭史	75.0	88		藤堂 愛子	84.7
9		本間 貴久	95.8	49		谷口 和雅	99.3	89		八森 恵一	14.1
10		南 優香	79.8	50		佐々木雅敏	83.3	90		中田 浩貴	80.4
11		廣瀬 晃典	80.6	51		佐藤 孝尚	78.1	91		遠藤 成紀	89.7
12		名越 隆雄	25.8	52		黒田 納規	92.8	92		鈴木 康弘	26.1
13		山美 幹生	77.2	53		桑子 武将	83.3	93		柳橋 琢磨	92.4
14		川股 修二	95.8	54		瀬戸口明慶	24.3	94		堀内 信吾	97.2
15		清宮 純	86.8	55		塩見 明	49.3	95		蝦名 和広	98.5
16		松本 隆臣	88.6	56		柳川 英樹	9.5	96		川崎 努	91.5
17		玉木 祥夫	51.8	57		竹内 美哉	92.9	97		熊谷 巨泰	83.5
18		佐藤 敏明	75.4	58		佐藤 伸泰	80.3	98		八島 依子	65.6
19	成田 敦哉	27.2	59	札幌西支部(41名)	小川 裕也	83.3	99	市川恵美子	38.9		
20	斎藤 雅昭	91.2	60		上原 貢	36.8	100	小樽支部(4名)	澤田 忠宏	90.7	
21	荒井 利幸	95.3	61		田中 裕之	97.3	101		西 正則	27.5	
22	中川 一俊	31.9	62		池脇 竜太	90.2	102		戸井 三雄	43.0	
23	藤谷 満雄	42.0	63		堀内鶴次郎	38.9	103	足立 竹秀	41.7		
24	出口 秀樹	55.8	64		小中 昌幸	86.0	104	函館支部(11名)	奥山 昌弘	95.0	
25	井上奈穂子	66.7	65		平田 清悦	78.7	105		細川 拓厚	96.6	
26	早坂 福芝	37.2	66		岡崎 正毅	11.5	106		蛭子井眞市	63.0	
27	千葉 寛樹	33.4	67		川井 一男	97.6	107		西谷 裕幸	73.9	
28	藤本 康男	10.9	68		吉田 幸広	89.7	108		松山 高治	67.5	
29	米澤 篤志	43.3	69		佐藤 修	72.3	109		中村 博信	57.1	
30	佐々木忠則	89.8	70		國分 敬祐	50.5	110		西谷 裕幸	76.4	
31	佐々木幸徳	65.5	71	佐藤 寿志	65.4	111	野呂 豊		76.2		
32	能登 康広	82.1	72	大沼 宏	58.3	112	木村 秀範		36.8		
33	中川 信喜	95.8	73	山谷 謙太	75.4	113	千田 浩文		99.2		
34	菅野 浩	98.4	74	中村新太郎	47.3	114	長田 栄吾		80.9		
35	田村 大助	80.3	75	菅原 一朗	38.8	115	帯広支部(14名)	佐藤 達徳	74.9		
36	久々津悦子	80.3	76	長田 幸雄	82.7	116		竹川 博之	84.1		
37	寺田 純子	99.0	77	大滝 裕子	23.1	117		松田 孝志	89.0		
38	丸山 昭一	84.6	78	中村 宗睦	97.6	118		谷本 倍規	87.9		
39	里村 喜江	64.9	79	田中 祥孝	97.3	119		東城 敬貴	84.6		
40	市川 善明	88.9	80	阿部 真澄	24.8	120		大平 渉	30.5		

列	支部会名	会員氏名【敬称略】	平均(過去12ヵ月)	列	支部会名	会員氏名【敬称略】	平均(過去12ヵ月)	列	支部会名	会員氏名【敬称略】	平均(過去12ヵ月)		
121	帯広支部(14名)	照井 直樹	95.9	139	釧路支部(6名)	近藤 康範	68.5	157	旭川支部(18名)	窪田 洋一	50.5		
122		来海 有起	93.1	140		北山 幸徳	52.0	158		能任 利明	46.2		
123		砂原 政広	93.6	141		鈴木 圭介	97.7	159		坂本 雅明	83.1		
124		中井 宏	54.7	142		伊藤 文彦	68.5	160		熊谷 良夫	61.3		
125		井上 理	24.6	143		阿部 雅博	91.0	161		島田 康弘	93.9		
126		梅田 勇	71.7	144	北見支部(5名)	井山 等	92.6	162		田村 栄章	72.7		
127		河合 敏	82.7	145		藤原 誉康	72.5	163		塩地 弘光	46.2		
128		佐藤 信祐	42.2	146		藤田 伸一	100.0	164		小島 拓也	71.1		
129		空知支部(9名)	斎藤恵美子	92.7		147	菅原 雅之	23.6		165	多田 陽平	35.6	
130			八幡 吉昭	83.7		148	中島 茂幸	85.4		166	神田 将吾	44.4	
131			木村 聡	83.0	149	旭川支部(18名)	薄井タカ子	78.7		167	苫小牧支部(7名)	駒井 桂同	76.9
132			山田 和訓	91.4	150		尾田 利雄	83.1		168		猪股 冬樹	96.5
133			東海林直彰	75.1	151		渡辺 祐吉	93.9		169		湯谷 和彦	92.2
134			鳴海 敏郎	72.6	152		金谷 博光	94.4		170		伊藤 芳一	89.7
135	大林 強		91.7	153	熊谷 益夫		61.3	171		佐藤 俊生		28.6	
136	中浦 孝一		83.0	154	松井 眞実		63.1	172		石田 政士		79.3	
137	坂本 健人		75.3	155	西 康子		77.4	173		上田 宣政		83.1	
138	釧路支部(6名)	甲賀 伸彦	90.5	156	高橋 慎吾		90.3						

秋季大学 フォトアルバム



翌月巡回監査率の公表方法

- 1 ProFIT にアクセス
- 2 「貴事務所の翌月巡回監査率」(右側バナー)をクリック
- 3 「翌月巡回監査率公表(エントリ制)へ」をクリック
- 4 「翌月巡回監査率の入力」をクリック
- 5 「翌月巡回監査率を公表する」にチェック
→「自動公表の依頼」をクリック
→「OK」をクリック

1. ProFIT にアクセス

2. 「貴事務所の翌月巡回監査率」(右側バナー)をクリック

3. 「翌月巡回監査率公表(エントリ制)へ」をクリック

4. 「翌月巡回監査率の入力」をクリック

5. 「翌月巡回監査率を公表する」にチェック
→「自動公表の依頼」をクリック
→「OK」をクリック

会員名	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
和広 和広	85.7	87.5	100.0	100.0	100.0	100.0	94.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.5
和広 和広	10.4	10.3	7.1	4.8	8.7	12.9	5.9	10.2	21.3	8.4	10.9	54.5	85.7	20.1

TKC全国社会福祉法人経営研究会

7月8日(月)「TKC社福研創設25周年記念研修会」を開催しました。基調講演には、講師として村木厚子さま(全社協会長・元厚生労働事務次官)をお招きした他、千葉正展さま(独立行政法人福祉医療機構)とのパネルディスカッションを行うなど、盛況のうちに終了することができました。



センター長、お世話になりました。
秋季大学おつかれさまでした。

齊藤将基福島センター長(前 旭川センター長)

1. 社会福祉法人経営研究会の重点活動

- (1) 社福5,000法人の受託を目指します。
(令和6年4月末実績:4,676法人)
- (2) 「財務会計に関する事務処理体制の向上
に対する支援業務実施報告書(別添2)」
(社会福祉法人の書面添付)添付拡大
- (3) オンデマンド研修の充実

基礎講座、初期指導、消費税の可否判定、介護報酬改定の影響、社会福祉法人経営指標(S-BAST)活用事例、社会福祉法人の関与拡大等の研修等が配信されています。

2. 業界団体との活動状況

- (1) 「福祉ネットワーク推進委員会」を新設し、厚生労働省、社会福祉法人関連団体(全国社会福祉協議会、全国老人福祉施設協議会、日本知的障害者福祉協会、日本保育協会、福祉医療機構など)との関係を強化しています。

- (2) 令和5年版S-BASTを、所轄庁、社会福祉法人関連団体に贈呈する活動を通じて、会員の会計に対する取り組みを説明しています。行政からの依頼により指導監査に同行するケースも増えてきています。

3. 消費税に関する問題への対応

社会福祉法人が行う事業のすべてが非課税ではありません。市町村等が独自に実施する事業や委託事業等の課否判断を検討することになりました。



全国で120件を超える社会福祉法人の関与が毎年増加しています。地域リーダーが中心となり情報交換会も開催されていますので、皆さまの参加をお待ちしております。

(TKC全国社会福祉法人経営研究会幹事 奥山 昌弘)

TKC北海道租税判例研究会について

TKC北海道租税判例研究会では、裁判例から租税法を学び、税理士の実務能力を一段と深化向上させて、租税正義の実現と税理士法第1条の使命を適切に果たすことを目的としています。

具体的には、中央租税判例研究会で取り上げられた研究課題について、その事例の選定趣旨に着目して判決内容を読み合わせ、租税法等を共同で研究する場を提供します。

税理士の日常業務では、関与先の経済活動について会計処理・税務処理を意識することはいうまでもありませんが、その大前提となるのは法律です。ある事象について関係法令をどのように解釈するか、争いが生じた場合どこが問題となるのか、

判決の内容は他の事象に影響を及ぼすのか等、税理士は実務家として常に法律を意識しなければなりません。

直近の判例に触れることは、関与先に対する指導、税務調査の対応等、裁判に至らない場合であっても、税理士実務には非常に有益なものとなります。

コロナ禍で活動中断後しばらく活動ができませんでしたが、令和6年度より新たな形式で活動の再開をいたします。引き続き北海道租税判例研究会への入会をお待ちしています。

(北海道租税判例研究会 鈴木 久欣)

別添2		財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書	
社会福祉法人××× 理事長 ××× 殿		令和6年5月23日	
		支援業務実施者 税理士	
貴法人より委嘱を受け、令和5年4月1日から令和6年3月31日に社会福祉法人×××において実施した、財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務は下記のとおりです。			
記			
支援項目及びその事項についての所見の詳細については別紙を参照ください。			
<p>本業務は、貴法人における「財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援」を行うもので、所見への記載事項は、業務実施の過程で発見されたものであり、当該記載事項が貴法人における全ての問題点を網羅していることを保証するものではありません。また、当該業務の結果として、貴法人の業務運営の適正性、計算書類の適正性を保証するものではありません。</p> <p>この報告書は、所轄庁への報告及び貴法人の内部での利用を前提に作成しておりますので、上記以外に利用される場合には、事前に支援業務実施者の了解を得ていただくことが必要です。</p>			
以 上			

財務会計に関する事務処理体制に係る支援項目リスト			
※ 業務の実施にあたっては、「社会福祉法人指導監督実施要綱の制定について」の別添「社会福祉法人指導監督実施要綱」の別紙「指導監督ガイドライン」の「監理3会計管理」についても留意すること。			
No.	勘定科目・項目等	確認事項	チェック
1	予算	収支予算は、毎会計年度開始前に理事長が作成し、定款の定めに従い適切な承認を受けているか。 予算執行中に、予算に変更事由が生じた場合、理事長は修正予算を作成し、定款の定めに従い適切な承認を受けているか。	YES NO 所見
2	経理体制	経理規程が制定されているか。 経理責任者や会計責任者が置かれ、それらとは別の現金管理責任者(出納職員)が置かれているか。 定款、法人が行っている事業の実態、法令等の事業種別等に基づき事業区分、拠点区分、サービス区分は適切に設定されているか。 勘定科目は、「社会福祉法人会計基準の制定に伴う会計処理等に関する運用上の留意事項について」別添3に準拠しているか。	YES NO 所見
3	会計帳簿	正統の簿記の原則に従って適時に正確な会計帳簿を作成しているか。 計算書類に係る各勘定科目の金額は、主要簿(総勘定元帳等)と一致しているか。 基本財産(有形固定資産)及びその他の固定資産(有形固定資産、無形固定資産)の金額は、固定資産管理台帳と一致しているか。 計算書類に係る各勘定科目の金額は、補助簿(現金出納帳、補助資産受払台帳、有価証券台帳等)と一致しているか。 経理規程に定められた会計帳簿(仕訳日記簿、総勘定元帳、補助簿及びその他の帳簿)は拠点区分ごとに作成され、備え置かれているか。	YES NO 所見
4	計算書類等	法人が作成している計算書類は、経理規程と一致しているか。 決算手続に際して各種機関の監査・承認及び日経等は法令及び定款の定めに従い適正に行われているか。 計算書類が様式に従って作成されているか。 貸借対照表上、基本財産として表示されているものは定款の定めと対応しているか。 貸借対照表上、未収金、前払金、未払金、前受金等の経常的な取引によって発生した債権債務は、流動資産又は流動負債に表示されているか。 貸借対照表上、貸付金、借入金等の経常的な取引以外の取引によって発生した債権債務については、貸借対照表の翌日から起算して1年以内に入金又は支払の期限が到来するものは流動資産又は流動負債に、入金又は支払の期限が1年を超えて到来するものは固定資産又は固定負債に表示されているか。 法人が作成している附属明細書は、経理規程と一致しているか。 法人全体及び拠点区分ごとに作成すべき附属明細書が全て作成されているか。 附属明細書が様式に従って作成されているか。 附属明細書の勘定科目と金額は、計算書類と整合性がとれているか。 財産目録が記載すべき事項及び様式に従って作成されているか。 財産目録の勘定科目と金額は、法人単位貸借対照表と整合性がとれているか。	YES NO 所見

別添2 財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書(抜粋)



研修会の様子

過去の『かいほう』が読めます。(214~256号)

「TKC北海道会」と検索するか、表紙または右のQRコードからアクセスしてください。

(広報委員会)



道内金融機関MIS対応状況一覧表(9月30日現在)

令和6年9月吉日

TKC北海道会会員 各位

TKC北海道会 会長 本間 貴久

行	金融機関名	区分	Web BAST 利用	MIS	決算書提供サービス 申込件数	月次試算表提供サービス 申込件数	支店数	1支店あたり 申込件数	貸出件数	貸出件数※に占める MIS割合
1	北海道銀行	地銀	○	○	1,678	219	144	11.7	14,092	11.9%
2	北洋銀行	第二地銀	○	○	3,460	440	171	20.2	28,775	12.0%
3	北海道信用金庫	信用金庫	○	○	1,220	145	81	15.1	10,952	11.1%
4	室蘭信用金庫	信用金庫		○	117	7	26	4.5	2,082	5.6%
5	空知信用金庫	信用金庫	○	○	299	49	21	14.2	3,043	9.8%
6	苫小牧信用金庫	信用金庫	○	○	280	37	27	10.4	2,252	12.4%
7	北門信用金庫	信用金庫	○	○	297	69	23	12.9	2,134	13.9%
8	伊達信用金庫	信用金庫	○	○	46	2	7	6.6	1,010	4.6%
9	北空知信用金庫	信用金庫		○	130	38	14	9.3	907	14.3%
10	日高信用金庫	信用金庫		○	68	11	8	8.5	948	7.2%
11	渡島信用金庫	信用金庫		○	40	6	11	3.6	740	5.4%
12	道南うみ街信用金庫	信用金庫	○	○	95	14	20	4.8	2,235	4.3%
13	旭川信用金庫	信用金庫	○	○	449	73	40	11.2	5,682	7.9%
14	稚内信用金庫	信用金庫	○	○	138	24	24	5.8	1,649	8.4%
15	留萌信用金庫	信用金庫	○	○	230	30	17	13.5	2,114	10.9%
16	北星信用金庫	信用金庫	○	○	178	19	22	8.1	1,531	11.6%
17	帯広信用金庫	信用金庫	○	○	884	78	29	30.5	4,736	18.7%
18	釧路信用金庫	信用金庫	○	○	288	63	18	16.0	1,796	16.0%
19	大地みらい信用金庫	信用金庫		○	113	17	24	4.7	2,065	5.5%
20	北見信用金庫	信用金庫	○	○	269	41	29	9.3	3,702	7.3%
21	網走信用金庫	信用金庫	○	○	152	28	19	8.0	1,626	9.3%
22	遠軽信用金庫	信用金庫		○	100	12	20	5.0	590	16.9%
23	北央信用組合	信用組合	○	○	244	31	26	9.4		
24	札幌中央信用組合	信用組合	○	○	172	23	14	12.3		
25	空知商工信用組合	信用組合	○	○	152	46	9	16.9		
26	十勝信用組合	信用組合	○	○	163	11	8	20.4		
27	釧路信用組合	信用組合	○	○	64	15	5	12.8		
28	十勝清水町農業協同組合	その他	○	○	13	6	1	13.0		
29	北海道信用保証協会	保証協会	○	○	2,977	266	10	297.7	20,696	14.4%

※貸出件数は、各金融機関のディスクロージャーより転記しています。

1支店あたりのMIS申込件数は、北海道銀行、北洋銀行、北海道信用保証協会ははじめ16金融機関において10件以上、貸出件数に占めるMIS割合は帯広信金ははじめ12金融機関が10%以上となっています。MISの圧倒的な実践を行い、その結果、社会への納得を得られるようMISをさらに推進していきましょう!

TKC北海道会

早期経営改善計画策定支援NEWS

令和6年9月27日版

TKC北海道会 会員各位

平成29年5月29日より早期経営改善計画策定支援が開始されました。当事業は、中小企業や小規模企業が、認定支援機関の支援を受けて、経営改善計画を策定し、金融機関に提出することで自己の経営の見直しと早期の経営改善を促すものです。認定支援機関の使命として、当事業を積極的に実践することで、関与先の業績管理体制を整えていきましょう。

TKC北海道会では、全認定支援機関登録事務所が、当事業を実践することを目指して活動します。その一環として、早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧を定期的に会員事務所へ発信いたします。是非、取り組みを開始しましょう!

TKC北海道会 会長 本間 貴久

早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧

【令和6年9月27日現在・順不同・敬称略】

No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名	No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	市川善明税理士事務所	市川 善明	31	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村 新太郎
2	札幌東	札幌市東区	岩崎新税理士事務所	岩崎 新	32	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田 めぐみ
3	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治	33	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷 謙太
4	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史	34	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	吉田 幸広
5	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤 恵一郎	35	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
6	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二	36	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷 裕幸
7	札幌東	札幌市中央区	黒田納規税理士事務所	黒田 納規	37	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂 豊
8	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫	38	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川 拓厚
9	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤 伸泰	39	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山 高治
10	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮 純	40	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦
11	札幌東	札幌市北区	アース税理士法人	谷口 和雅	41	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井 タカ子
12	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉	42	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島 拓也
13	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人エンカレッジ中田事務所	中田 浩貴	43	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋 慎吾
14	札幌東	札幌市東区	廣瀬晃典税理士事務所	廣瀬 晃典	44	旭川	稚内市	税理士法人田村会計	田村 栄章
15	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田 時人	45	旭川	旭川市	ふたば税理士法人	西 康子
16	札幌東	札幌市北区	藤本康男税理士事務所	藤本 康男	46	旭川	旭川市	税理士法人たいせつ	渡辺 亨
17	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久	47	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	渡辺 祐吉
18	札幌東	札幌市豊平区	南優香税理士事務所	南 優香	48	北見	網走市	税理士法人オホーツクネクスト経営会計	南 都正弘
19	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビシャス・パートナーズ	森下 浩	49	空知	滝川市	大林強税理士事務所	大林 強
20	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川 英樹	50	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤 恵美子
21	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美 幹生	51	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 健人
22	札幌東	札幌市中央区	吉田聡税理士事務所	吉田 聡	52	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡 吉昭
23	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 竜太	53	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏
24	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名 和広	54	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海 有起
25	札幌西	札幌市中央区	税理士法人高橋会計事務所	大館 政男	55	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原 政広
26	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也	56	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川 博之
27	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中 昌幸	57	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
28	札幌西	札幌市中央区	アウル税理士法人	鈴木 康弘	58	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀 伸彦
29	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之	59	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤 康範
30	札幌西	札幌市中央区	戸井正人税理士事務所	戸井 正人	60	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木 圭介

1. 事務所名掲載の条件

- (1) ProFITの「利用申請受理通知」の報告を実施していること。
- (2) 「利用申請受理通知」の報告にて「TKC会報の実践事務所一覧への掲載」および「TKC全国会HPの実践事務所一覧への事務所名掲載」を承諾していること。

※事務所名掲載を希望されない場合は、ProFITにて承諾にチェックを入れないようにしてください。

2. 当資料は、前週の金曜日に集計し毎週月曜日に発信させていただきます。

TKC北海道会

中小企業支援委員会 / システム委員会 / 巡回監査・事務所経営委員会

1.TKCモニタリング情報サービス採用金融機関

■北海道内金融機関■

1	北海道銀行	8	空知信用金庫	15	北星信用金庫	22	日高信用金庫
2	北洋銀行	9	北門信用金庫	16	空知商工信用組合	23	室蘭信用金庫
3	道南うみ街信用金庫	10	稚内信用金庫	17	釧路信用金庫	24	留萌信用金庫
4	北海道信用金庫	11	帯広信用金庫	18	十勝信用組合	25	遠軽信用金庫
5	苫小牧信用金庫	12	北見信用金庫	19	大地みらい信用金庫	26	十勝清水町農業協同組合
6	旭川信用金庫	13	渡島信用金庫	20	釧路信用組合	27	伊達信用金庫
7	北空知信用金庫	14	網走信用金庫	21	北央信用組合	28	札幌中央信用組合

■都市銀行等■

1	三菱UFJ銀行	5	商工組合中央金庫
2	りそな銀行	6	日本政策金融公庫
3	三井住友銀行	7	北海道信用保証協会
4	楽天銀行	8	みずほ銀行

■道内に支店がある他県の金融機関■

1	北陸銀行	5	スルガ銀行
2	みちのく銀行	6	七十七銀行
3	秋田銀行	7	青森銀行
4	第四銀行		



2.TKCモニタリング情報サービス積極推進事務所

No	支部	所在地	事務所名	会員名	No	支部	所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	あらい税理士事務所	荒井 利幸	30	札幌東	札幌市豊平区	BDO税理士法人 札幌事務所	出口 秀樹
2	札幌東	札幌市東区	税理士法人五十嵐会計事務所	五十嵐勝義	31	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉
3	札幌東	札幌市北区	税理士法人ジャパンタックス申告会	池戸 俊幸	32	札幌東	札幌市南区	中川一俊税理士事務所	中川 一俊
4	札幌東	札幌市東区	市川善明税理士事務所	市川 善明	33	札幌東	札幌市白石区	税理士法人中川会計	中川 信喜
5	札幌東	札幌市東区	岩崎新税理士事務所	岩崎 新	34	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人エンカレッジ中田事務所	中田 浩貴
6	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治	35	札幌東	札幌市東区	名越税務会計事務所	名越 隆雄
7	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史	36	札幌東	札幌市白石区	西原昇一税理士事務所	西原 昇一
8	札幌東	札幌市豊平区	大林慎一税理士事務所	大林 慎一	37	札幌東	札幌市北区	税理士法人札幌北会計事務所	能登 康広
9	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤恵一郎	38	札幌東	札幌市北区	税理士法人ひづめ会計	樋爪 昌之
10	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人金坂会計事務所	金坂 和正	39	札幌東	札幌市東区	廣瀬晃典税理士事務所	廣瀬 晃典
11	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二	40	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田 時人
12	札幌東	札幌市中央区	黒田納規税理士事務所	黒田 納規	41	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久
13	札幌東	札幌市北区	公認会計士小島史資事務所	小島 史資	42	札幌東	札幌市中央区	税理士法人アグス大通事務所	松本 隆臣
14	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫	43	札幌東	札幌市中央区	丸山昭一税理士事務所	丸山 昭一
15	札幌東	札幌市東区	小林崇税理士事務所	小林 崇	44	札幌東	札幌市豊平区	南優香税理士事務所	南 優香
16	札幌東	札幌市白石区	斎藤雅昭税理士事務所	斎藤 雅昭	45	札幌東	札幌市北区	宮下直樹税理士事務所	宮下 直樹
17	札幌東	札幌市豊平区	坂本文彦税理士事務所	坂本 文彦	46	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビジャス・パートナーズ	森下 浩
18	札幌東	札幌市北区	税理士法人日本アシスト会計	佐々木忠則	47	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川 英樹
19	札幌東	札幌市北区	税理士法人アカシヤ総合事務所	佐々木俊彦	48	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美 幹生
20	札幌東	恵庭市	佐藤孝尚税理士事務所	佐藤 孝尚	49	札幌東	札幌市南区	米澤篤志税理士事務所	米澤 篤志
21	札幌東	札幌市中央区	佐藤敏明税理士事務所	佐藤 敏明	50	札幌西	札幌市中央区	中央財務税理士法人	安倍 亨
22	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤 伸泰	51	札幌西	札幌市中央区	税理士法人さっぽろ税務会計	阿部 真澄
23	札幌東	札幌市豊平区	鈴木久欣税理士事務所	鈴木 久欣	52	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 竜太
24	札幌東	札幌市北区	税理士法人すみよし会計総合事務所	住吉 赴夫	53	札幌西	札幌市中央区	税理士法人春野会計事務所	石川 由男
25	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮 純	54	札幌西	札幌市中央区	板倉圭吾税理士事務所	板倉 圭吾
26	札幌東	札幌市白石区	竹内美哉税理士事務所	竹内 美哉	55	札幌西	札幌市中央区	上原貢税理士事務所	上原 貢
27	札幌東	札幌市北区	税理士法人しらかば総合会計事務所	田中 慎也	56	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名 和広
28	札幌東	札幌市北区	アース税理士法人	谷口 和雅	57	札幌西	札幌市中央区	岡崎正毅税理士事務所	岡崎 正毅
29	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人アグス平岸事務所	千葉 寛樹	58	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也

No	支部	所在地	事務所名	会員名
59	札幌西	札幌市中央区	税理士法人川井会計	川井 一男
60	札幌西	札幌市中央区	川崎税理士事務所	川崎 努
61	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中 昌幸
62	札幌西	札幌市中央区	齋藤豊税理士事務所	齋藤 豊
63	札幌西	札幌市手稲区	佐藤寿志税理士事務所	佐藤 寿志
64	札幌西	札幌市中央区	鈴江誠税理士事務所	鈴江 誠
65	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之
66	札幌西	札幌市中央区	外館英樹税理士事務所	外館 英樹
67	札幌西	札幌市中央区	中川雄介税理士事務所	中川 雄介
68	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村新太郎
69	札幌西	札幌市中央区	橋本佐智子税理士事務所	橋本佐智子
70	札幌西	札幌市中央区	はちもり会計事務所	八森 恵一
71	札幌西	札幌市中央区	林田敬二税理士事務所	林田 敬二
72	札幌西	札幌市中央区	平田清悦税理士事務所	平田 清悦
73	札幌西	札幌市中央区	堀内信吾税理士事務所	堀内 信吾
74	札幌西	札幌市中央区	税理士法人あかり会計堀内	堀内鶴次郎
75	札幌西	札幌市中央区	スズカ税理士法人	松本 剛明
76	札幌西	札幌市西区	三上税務会計事務所	三上 香織
77	札幌西	札幌市西区	税理士法人共栄会計	長田 幸雄
78	札幌西	札幌市西区	村岡学税理士事務所	村岡 学
79	札幌西	札幌市中央区	森下敏美税務会計事務所	森下 敏美
80	札幌西	札幌市中央区	柳橋税務会計事務所	柳橋 琢磨
81	札幌西	札幌市中央区	八島依子税理士事務所	八島 依子
82	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田めぐみ
83	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷 謙太
84	札幌西	札幌市中央区	湯澤武憲税理士事務所	湯澤 武憲
85	札幌西	札幌市中央区	吉田淳税理士事務所	吉田 淳
86	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	吉田 幸広
87	札幌西	札幌市西区	米倉弘之税理士事務所	米倉 弘之
88	小樽	小樽市	澤田忠宏税理士事務所	澤田 忠宏
89	小樽	小樽市	税理士法人中央会計事務所	杉下 清次
90	小樽	小樽市	戸井三雄税理士事務所	戸井 三雄
91	小樽	岩内郡岩内町	西正則税理士事務所	西 正則
92	小樽	虻田郡倶知安町	税理士法人アームズ会計社	藪内 英利
93	函館	函館市	大原章敬税理士事務所	大原 章敬
94	函館	函館市	奥山昌弘税理士事務所	奥山 昌弘
95	函館	函館市	田村維之税理士事務所	田村 維之
96	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
97	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷 裕幸
98	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂 豊
99	函館	函館市	税理士法人アグス函館事務所	蛭子井真市
100	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川 拓厚
101	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山 高治
102	空知	岩見沢市	税理士法人TACS	木村 聡
103	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤恵美子
104	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 健人
105	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡 吉昭
106	空知	岩見沢市	税理士法人ひまわり	山田 和訓

No	支部	所在地	事務所名	会員名
107	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井タカ子
108	旭川	稚内市	蝦名朗太税理士事務所	蝦名 朗太
109	旭川	旭川市	税理士法人エール旭川	尾田 利雄
110	旭川	旭川市	金谷博光税理士事務所	金谷 博光
111	旭川	士別市	税理士法人神田税理士事務所	神田 将吾
112	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島 拓也
113	旭川	旭川市	朝日税理士法人旭川事務所	實吉 孝範
114	旭川	名寄市	税理士法人下田総合事務所	下田倭津夫
115	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋 慎吾
116	旭川	旭川市	多田陽平税理士事務所	多田 陽平
117	旭川	稚内市	税理士法人田村会計	田村 栄章
118	旭川	旭川市	藤井雄一郎税理士事務所	藤井雄一郎
119	旭川	旭川市	舟橋馨税理士事務所	舟橋 馨
120	旭川	旭川市	丸山和也税理士事務所	丸山 和也
121	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	渡辺 祐吉
122	北見	紋別市	井山等税理士事務所	井山 等
123	北見	北見市	中島茂幸税理士事務所	中島 茂幸
124	北見	網走市	税理士法人オホーツクネクスト経営会計	南部 正弘
125	北見	網走市	税理士法人北翔会計	藤原 誉康
126	北見	紋別市	渡邊直喜税理士事務所	渡邊 直喜
127	帯広	帯広市	税理士法人FPC	井上 理
128	帯広	帯広市	梅田勇税理士事務所	梅田 勇
129	帯広	帯広市	税理士法人FPC	大平 涉
130	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏
131	帯広	広尾郡広尾町	木下利夫税理士事務所	木下 利夫
132	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海 有起
133	帯広	帯広市	佐藤信祐税理士事務所	佐藤 信祐
134	帯広	帯広市	税理士法人きずな会計事務所	佐藤 達徳
135	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原 政広
136	帯広	帯広市	関税理士事務所	関 有紀子
137	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川 博之
138	帯広	帯広市	田中聡税理士事務所	田中 聡
139	帯広	帯広市	谷本会計事務所	谷本 倍規
140	帯広	河東郡音更町	てるい会計事務所	照井 直樹
141	帯広	帯広市	東城会計事務所	東城 敬貴
142	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
143	帯広	河西郡芽室町	長田勇一税理士事務所	長田 勇一
144	帯広	帯広市	松田孝志税理士事務所	松田 孝志
145	釧路	釧路市	伊藤文彦税理士事務所	伊藤 文彦
146	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀 伸彦
147	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤 康範
148	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木 圭介
149	苫小牧	苫小牧市	あすか税理士法人	石田 政士
150	苫小牧	苫小牧市	猪股冬樹税理士事務所	猪股 冬樹
151	苫小牧	室蘭市	駒井桂同税理士事務所	駒井 桂同
152	苫小牧	登別市	柴山徳雄税理士事務所	柴山 徳雄
153	苫小牧	苫小牧市	本野博之税理士事務所	本野 博之
154	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦



創設50周年記念移動例会

函館支部創設50周年記念移動例会・仙台

6月17日(月)、支部会員6名と関係機関2名の計8名で移動例会を行いました。

当日は、東北会システム委員長の高谷新悟会員の事務所(税理士法人クラフトマン)の見学会を行った後、日本三景の松島海岸にある松島センチュリーホテルで移動例会を実施。おいしい料理とすてきな景色に魅了され、歌手さながらの某副支部長の歌声に癒された楽しい例会となりました。

参加者一同、今後ますますの健勝と活躍を誓い、お開きとなりました。



高谷新悟会員の事務所(税理士法人クラフトマン)で行われた見学会の様子



函館支部第51回定期総会開催される

8月20日(火)、プレミアムホテル-CABIN PRESIDENT-函館において第51回定期総会が開催されました。

会員18名(21名中)と北海道会の本間貴久会長をはじめとする14名のご来賓を迎え、久々に大勢の参加者となりました。

議事、報告事項が滞りなく承認され、来年の函館秋季大学の成功を祈願し、5金融機関の幹部を迎えて懇親会に移行しました。

懇親会においては、函館支部恒例となっている参加者全員による「1分間スピーチ」を行いました。

今回は59秒でスピーチをまとめた方が1名おりました。

再会を約して、二次会へと流れていきました。

(函館支部長 蛭子井 真一)



定期総会の様子



支部例会・研修会だより

FROM HAKODATE, ASAHIKAWA, SORACHI, TOMAKOMAI, SAPPORO HIGASHI, OBIHIRO



第52回定期総会

8月2日(金)、アートホテル旭川において、TKC北海道会旭川支部第52回定期総会が開催されました。

総会前に事務所経営塾として、TKC北海道会より南優香書面添付推進委員長にお越しいただき、「書面添付推進について」と題して、パネルディスカッションを開催していただきました。

総会は、多田陽平総務委員長の司会で始まり、新入会員の紹介では、加藤博久会員より入会のあいさつをいただき、支部長あいさつの後、総会成立報告では、会員41名中出席会員18名、委任状17名で総会が成立していることの報告がされました。

総会議長には島田康弘会員が選出され、議事録署名人には新入会員の加藤会員が指名されました。

議案審議では、第1号議案「令和5年度 事業報告並びに収支決算承認に関する件」、第2号議案「令和6年度 事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件」、第3号議案「旅費規程の改訂に関する件」が提案されましたが、一部ご意見をいただき、満場で採択されました。



報告事項では、ご来賓として出席いただいたTKC北海道会菅野浩副会長より、TKC北海道会のプロジェクト企画・キャンペーン・研修の案内・秋季大学などについて報告をいただきました。提携企業からは、TKCから全国役員大会の報告、大同生命保険株式会社から上期保険指導強化期間の報告などがあり、総会は閉会いたしました。

総会後の懇親会は、支部長あいさつの後、ご来賓として出席いただいたTKC北海道会木村聡副会長よりあいさつをいただき、日本政策金融公庫国民生活事業の門馬昌彦融資第2課長よりあいさつ

と乾杯のご発声をいただき開宴となりました。

懇親会は、19名のご来賓・提携協定企業の方々にご出席いただき、終始和やかにご歓談させていただきました。

閉会のあいさつを、大同生命北海道TKC企業保険支社の大澤真人副支社長からいただき、定期総会・懇親会が無事に終了いたしました。

当日は、旭川夏祭りが開催されており、旭川の繁華街3・6街に繰り出し盛り上がったようです。

(旭川支部 舟橋 馨)





支部定期総会開催

8月8日(木)に空知支部定期総会を滝川市のホテル三浦華園で開催いたしました。

会員出席は8名で、来賓としてTKC北海道会から本間貴久会長、空知支部担当菅野浩副会長、大同生命保険株式会社から下村利文支社長、道北担当課長野原潤一さん、大和ハウス工業株式会社から松岡嶺さん、TKC旭川SCGサービスセンターから齊藤将基センター長、齋藤友哉SCG、沖大我SCGにご出席いただきました。また、『かいほう』の取材のため苫小牧支部から小林史郎会員もご出席くださいました。

議案は以下の通りで、慣習で支部長が議長となり議事を進め、原案通り承認可決されました。

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算報告承認の件並びに監査報告

第2号議案 令和6年度事業計画及び収支予算案承認の件

次に、来賓を代表して本間会長からご祝辞をいただきました。

その後、委員会報告および関連企業の報告があり、最後にTKCに対しての意見や感じていること、本間会長に聞いてみたいことなどを出席会員に自由に発言していただきました。会員からさまざまな想いや意見が出て、とても有意義な総会となりました。

総会終了後は、同ホテルの別会場で懇親会を開き、盛会のまま中締めとなり、滝川の歓楽街へ移動し二次会を行いました。

(空知支部長 八幡 吉昭)



懇親会の様子



定期総会の様子



支部定期総会・研修会

9月10日(火)、苫小牧市グランドホテルニュー王子において定期総会および支部例会を開催いたしました。

出席者は会員8名の他、TKC北海道会からは本間貴久会長および澤田忠宏副会長、提携協定企業、TKC北海道センターの方々に加え、ゲストとして札幌東支部から岩田圭史副支部長、広報委員会からは谷口卓弥会員にご出席いただきました。

総会に先立ち、支部研修として株式会社日本M&Aセンターの鈴木唯弘さんより「M&A増加の背景」「株価の算定方法」「協業におけるM&Aの流れ」を説明していただきました。

定期総会は、小林史郎会員の司会で進行され、柴山太一支部長あいさつの後、総会成立報告があり、総会が有効に成立していることが報告されました。

議長には柴山支部長が選出され、議案の審議に入りました。

第1号議案「令和5年度活動報告並びに決算報告承認の件」、第2号議案「令和6年度活動計画並びに予算(案)承認の件」の2議案につきま

して、満場一致で承認されました。

審議終了後に支部例会が開催され、本間会長あいさつの後、澤田副会長よりTKC北海道会からの報告として、「MIS情報交換会」の報告や「年度重要テーマ研修2024」「秋季大学開催」の案内等がありました。次に湯谷和彦中小企業支援委員長から継続MASを活用した経営助言の推進、その他各委員会からの報告があり、大同生命保険株式会社、大和ハウス工業株式会社、積水ハウス株式会社からそれぞれお知らせがあり、9月例会は終了しました。

終了後、同ホテル内の「日本料理こぶし」で懇親会が開催されました。

(苫小牧支部 本野 博之)





「はじめての職員採用」～研修会報告

9月13日(金)18時より、グランド居酒屋富士札幌すすきの店にて労働局・ハローワークでの勤務経験がある札幌東支部の岩田圭史会員を講師として、「はじめての職員採用」をテーマにニューメンバーズフォローセミナーが開催されました。

冒頭では、岩田会員が事務所独立後にどのように採用活動を行ってきたかの紹介があり、苦労したことや成功した事例について、出席者と共有をいただきました。

その後、職員を採用する際の募集方法ごとのメリット・デメリットや注意点について説明をいただきました。その中で、事務所のステータス(規模・開業からの年数・ブランド力)によってもメリット・デメリットが異なることについて解説があり、経験に則した内容には説得力がありました。

セミナー後半においては、応募者の見極め方法として不適正検査スカウター(性格診断テスト)のご案内があり、実際に集まった会員自身が検査を受け、結果をシェアし合い、自分の性格とどれくらい一致しているものなのか、検査結果を採用にどのように活用するかについて意見交換を行いました。

意見交換はお酒を飲みながら楽しく行われ、話題は各会員の事務所経営に関する話や会務についてなど採用活動以外についても情報交換ができ大変有意義な時間となりました。

人に関する課題は永遠の課題ではありますが、理想と現実のギャップを踏まえつつ、理想に向けてどのように戦略的に活動していくかを検討する良い機会になりました。充実した内容のセミナーおよび懇親会を企画していただき感謝しております。

(札幌東支部 高橋 慧)



第27回定期総会開催

9月20日(金)、同日午後開催のTKC北海道会の定期総会・政経研究会定期大会に先立ち、午前10時半よりホテルモントレーデルホフ札幌にて定期総会が開催されました。総会員数146名中、当日出席会員33名、委任状提出会員78名、合計111名、支部規約により定足数を満たしました。

中田浩貴副支部長の開会のことば、次いで市川善明支部長から開会あいさつがあり、物故会員黙とう、岩田圭史副支部長より新入会員の紹介、そして支部規約により議長に小平康夫会員を選出、議案の審議に入りました。

第1号議案「令和5年度の事業報告及び決算報告承認の件」については、佐藤博嗣総務委員長により、会議・支部例会等の開催についての内容

報告、各委員会の活動報告、令和5年度決算報告が行われ、監事報告後、質疑応答・採決により当該議案は、賛成多数により可決・承認されました。

質疑2点、役員以外の支部会出席会員がほとんどいない点、研修などではなく企業防衛が予算を多く取っておりグループ懇談会以外の予算執行状況が決算書からは不明確な点が指摘され、それに対し、市川支部長より参加者が少なく各委員会合同となったグループ懇談会は金融機関との懇談会とする旨、執行状況確認として12月末までの半期分を2月に開示する旨、方針が示されました。

また、一度改善された監査報告書の不備、札幌東支部の監査・監事であること、支部長宛明記が再度抜け落ちている点指摘がありました。





引き続き、第2号議案「令和6年度の事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件」については、市川支部長より支部活動事業計画、(1)基本方針(2)重点施策(3)活動目標について、TKC全国会の施策を推進し、北海道会のモデル支部としていく構想の説明があり、各委員会活動事業計画案がそれぞれの委員長から発表されました。さらに、令和6年度収支予算案の説明があり、その後、質疑応答・採決により、当該議案は賛成多数により可決・承認され、これにより、すべての審議は滞りなく終了しました。

最後に、本間貴久TKC北海道会会長よりあいさつ、砂原政広副会長より北海道会報告、各委員長より委員会報告があり、柳川英樹副支部長より結びのあいさつがなされ、総会は無事に終了しました。本総会は熱心に議論いただいた結果、時間も押すこととなりましたが、実りある総会であったと思います。

(札幌東支部 谷口 卓弥)



DX下剋上プロジェクト

現在、中小企業は慢性的な人手不足で、そこに働き方改革の影響もあり、経理業務も効率化・デジタル化が求められる時代です。そのタイミングで、AI機能の進化やクラウドシステムの普及が進み、機械にできることは、機械にやらせてもらう!ということが現実的となりました。

これによって、今まで2人でやっていた業務が1人でできるようになり、ベテランの職員しかできなかった経理業務が、新人の方でもできるようになります。

そして、このような動きに付いて行けるかどうか、今後企業として生き残って行けるかどうかの分岐点になるのではないかと考えられますし、また、DX化をサービスとして提供できるかどうか?は、会計事務所としても、大きな差別化につながります。

このような経緯で、帯広支部においてDXを標準業務にするべく企画を進める中で、なんと帯広支部は、TKCシステムの証憑保存機能・銀行信販データ受信機能の利用率が、全国最下位であることが

判明します。これは衝撃でした。TKCの施策で、大体何をやっても上位にいる帯広支部が全国最下位…。ここに「DX下剋上プロジェクト」が誕生しました。

4月24日(水)に、元帯広センター長の秦勝行さんをお招きし、「DX下剋上プロジェクト」のキックオフ研修会を実施し、6月18日(火)には東京中央会の北條貴裕会員にお越しいただき、事務所の事例を紹介していただきました。

現在は、7事務所、12名の職員に参加いただき、DX研究会を発足し、実際にDXを進める上での成功事例・失敗事例などを共有し、証憑保存機能・銀行信販データ受信機能等の普及に取り組んでおります。

「DX下剋上プロジェクト」の名の通り、証憑保存機能・銀行信販データ受信機能の利用率日本一!を目指して、支部一丸となって頑張ります!!

(帯広支部長 中井 宏)

第2回 DX事例研究会

8月8日(木)9:30~11:00

場所：TKC帯広SCGサービスセンター研修室

TKC自計化システムの銀行信販データ受信機能、証憑保存機能の利活用拡大を目指し、帯広支部独自のDX下剋上プロジェクトを立ち上げています。各事務所のプロジェクトメンバーの職員が参加され、第2回目となる研究会が開催されました。



TKC北海道会帯広支部
中井 宏 支部長

下剋上プロジェクトの主役は

“参加されている職員の皆さま”です。
機能活用の利用や提案活動をする中で、うまくいかないこともあると思います。逆にうまくいってばかりだとつまらないでしょう。
うまくいかないことがあれば、気兼ねなく皆さまお互いに事例共有を図り、DXについて知識を深めてほしいです。



活動の振り返りと事例発表 ディスカッション

各人が提案活動を実施され、うまくいかなかったこと、うまくいったことについて、4グループに分かれ活発な情報交換が行われました。また、各グループの代表者から関与先へ実際にシステム活用を実践・提案してみた事例が発表されました。



各グループより事例発表を実施しました！



- 第1グループ**
 - インターネットバンキングの利用を関与先企業に勧めました。
 - 財務エントリから自計化を進めています。その流れで銀行信販データ受信機能も併せて進めるようにしています。
 - 証憑保存の推進をしています。証憑保存の知識、デモデータを使って理解を深めています。操作方法などを知った上で進めていきたいと思っています。
- 第2グループ**
 - 関与先PCの設定を実施し、銀行信販データ受信機能の利用設定とクレジットカード受信、電子納税かんたんキットの利用を始めました。
 - 関与先が金融機関ごとにインターネットバンキングを利用しているかを知ること、利用されていれば銀行信販データ受信機能の提案を実施します。
 - 電子納税かんたんキットを利用する場合、提案の際には、税金の支払方法の確認をします。
- 第3グループ**
 - 職員の情報共有を行い、設定などができるようにマニュアルの作成を行います。
 - 関与先に利用のメリットをお伝えして証憑保存機能を始めました。
 - 銀行信販データ受信機能の立ち上げをしたいです。
- 第4グループ**
 - 証憑保存機能をお勧めし、実際に利用していただきました。
 - 銀行信販データ受信機能を導入できました。
 - 新規顧問先がシステムを利用すると同時に、銀行信販データ受信機能、証憑保存機能、クレジットカードを作成していただきました。

第3回 DX事例研究会

9月5日(木)9:30~11:00

場所：TKC帯広SCGサービスセンター研修室

TKC自計化システムの銀行信販データ受信機能、証憑保存機能の利活用拡大を目指し、帯広支部独自のDX下剋上プロジェクトを立ち上げています。各事務所のプロジェクトメンバーの職員が参加され、第3回目（最終回）となる研究会が開催されました。

メンバーからの事例発表を実施しました！

銀行信販データ受信機能、電子納税かんたんキット、証憑保存機能の提案、お客さまへの納品支援を実施しました。それぞれの機能のよかった点、懸念事項（注意事項）を共有いただきました。



中井会計事務所
柳 直斗 会員



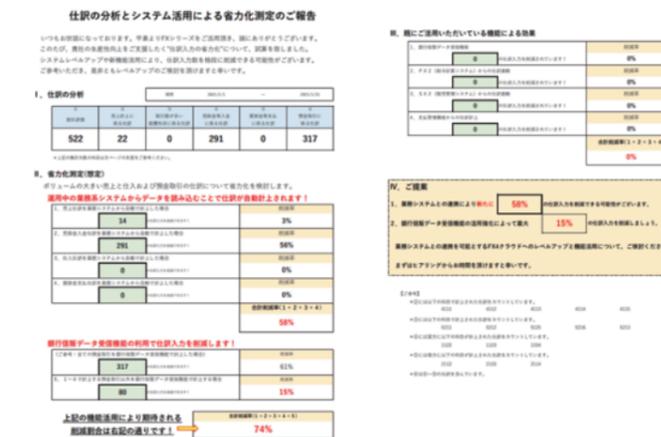
TKC北海道会帯広支部
中井 宏 支部長

記帳代行先の、DX活用による自計化事例を発表していただきました。
仕訳手入力は、仕訳辞書からの2枚のみ！

どちらも、この3ヶ月の事例です！



仕訳分析ツールを用い、第1回（7/3）開催時との効果測定を実施



第1回に行った仕訳分析。この3ヶ月の成果はいかに？！研究会メンバーがそれぞれ自身の担当関与先のデータを用い、効果測定を実施しました。



ぜひ、他のお客さまにも分析ツールをご活用ください！

活動の振り返りと事例発表 ディスカッション

■事例研究会に参加されて■

- ☺研究会がきっかけとなり、証憑保存機能等の知識を習得でき、関与先へ提案することができた。
- ☺システム活用により作業時間が短縮できた、システム導入に前向きになった。
- ☺入力削減を“もうできない”と思っていた関与先が、まだ削減できることがあることに気づいた。
- ☺今までは入力作業含めこちらで行うのが仕方ないと思っていましたが、効率を含めて、“どう導入していくか”を考えるようになりました。

令和6年 書面添付実践件数 (令和6年9月末日現在)

令和6年 書面添付実践件数 (令和6年9月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和5年実績	令和6年実績									
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
1	札幌東支部	五十嵐勝義	92	4	6	2	6	15	7	9	10	7	66
2		市川 善明	49	3	10	4	5	11	3	3	2	4	45
3		岩崎 新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4		岩田 圭史	46	1	7	9	4	11	1	4	3	6	46
5		大林 慎一	5	0	0	1	0	0	0	1	1	0	3
6		加藤恵一郎	209	4	40	34	21	38	14	8	14	13	186
7		金子 雅行	8	0	1	0	1	1	1	1	0	2	7
8		金坂 和正	13	0	2	3	0	2	1	1	3	0	12
9		川股 修二	168	9	15	8	22	21	16	18	14	12	135
10		小平 康夫	46	0	4	4	4	8	4	2	5	3	34
11		斎藤 雅昭	11	0	1	0	0	5	2	0	1	0	9
12		坂本 文彦	8	0	3	0	0	6	0	0	1	1	11
13		佐々木忠則	225	6	24	43	17	36	18	14	19	8	185
14		佐々木俊彦	12	1	2	1	2	1	0	1	2	1	11
15		佐々木幸徳	34	0	2	1	6	8	0	4	1	2	24
16		佐藤 俊一	13	0	3	1	0	2	0	1	2	1	10
17		佐藤 孝尚	19	1	2	2	0	5	2	0	1	0	13
18		佐藤 伸泰	63	1	6	14	3	15	4	5	6	0	54
19		下坂 登	7	0	6	0	0	0	0	0	0	1	7
20		清宮 純	88	1	9	5	6	17	7	4	6	4	59
21		高野 真人	10	1	0	0	0	2	1	2	2	0	8
22		田中 慎也	5	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3
23		谷口 和雅	26	1	3	4	0	8	2	2	4	0	24
24		千葉 寛樹	82	3	17	7	5	18	4	3	4	6	67
25		出口 秀樹	57	3	5	4	4	23	2	5	4	4	54
26		寺田 勉	80	1	14	13	6	13	9	2	2	11	71
27		中川 一俊	54	0	8	3	9	15	1	1	5	2	44
28		中川 信喜	60	3	6	8	4	8	6	5	3	4	47
29		中田 浩貴	27	0	2	5	1	1	2	1	6	3	21
30		名越 隆雄	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
31		能登 康広	9	0	1	0	1	0	2	0	1	1	6
32		廣瀬 晃典	26	0	5	1	1	5	4	2	4	2	24
33		藤田 時人	57	4	5	4	7	6	5	4	5	5	45
34		藤谷 満雄	17	0	2	2	1	2	2	0	2	1	12
35		藤本 康男	4	0	1	0	1	0	0	1	1	0	4
36		本間 崇	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
37		本間 貴久	145	1	21	20	15	32	5	5	9	13	121
38		松本 隆臣	66	2	9	6	3	11	7	1	7	4	50
39		丸山 昭一	29	1	6	1	4	4	1	2	1	1	21
40		南 優香	39	2	9	3	4	8	1	3	4	1	35

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和5年実績	令和6年実績									
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
41	札幌西支部	宮下 直樹	242	8	57	39	13	31	7	20	12	12	199
42		宮本 信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43		森下 浩	17	0	4	4	2	1	0	2	0	1	14
44		山美 幹生	51	3	5	4	7	15	2	3	5	2	46
45		横山 知明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46		吉川 直宏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47		米澤 篤志	13	0	0	1	0	5	0	0	0	0	6
48		阿部 真澄	64	0	1	0	1	11	5	1	4	5	28
49		池脇 竜太	91	1	10	10	8	15	9	5	4	12	74
50		石川 透	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
51		石川 由男	44	0	13	1	1	9	1	2	2	5	34
52		伊東 幹世	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
53		上原 貢	11	0	2	1	2	1	2	0	2	0	10
54		大沼 宏	6	0	0	0	1	5	0	0	0	0	6
55		岡崎 克明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
56		岡崎 正毅	11	0	0	5	1	0	0	1	1	0	8
57		小川 裕也	11	1	1	1	1	4	1	1	0	1	11
58		川端 忠範	12	0	1	0	1	3	2	0	1	0	8
59		國分 敬祐	5	0	1	0	0	1	0	0	1	0	3
60		小中 昌幸	93	2	10	23	6	27	9	4	5	13	99
61		小林 康弘	23	0	2	2	5	6	2	1	1	3	22
62		近藤 勝美	4	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3
63		鈴江 誠	48	0	5	7	5	12	2	1	7	3	42
64		高野 一夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65		田中 裕之	147	1	19	13	9	41	5	9	13	10	120
66		藤堂 愛子	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
67		外館 英樹	15	2	2	3	0	3	0	3	1	1	15
68		中川 雄介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
69		長田 幸雄	21	0	2	1	0	3	1	1	1	1	10
70		西野尾嘉拓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
71		八森 恵一	8	0	0	0	0	4	2	1	1	0	8
72		平田 清悦	32	0	10	6	3	6	1	1	3	1	31
73		堀内鶴次郎	21	0	3	0	1	4	1	2	1	1	13
74		三上 香織	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
75		村西 逸郎	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
76		森下 敏美	12	0	2	3	0	3	0	3	0	0	11
77		柳橋 琢磨	14	2	4	0	1	2	1	0	2	2	14
78		八島 依子	22	0	2	5	1	5	3	0	1	4	21
79		山田めぐみ	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
80		山谷 謙太	266	14	25	22	30	52	15	21	25	14	218

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和5年実績	令和6年実績									
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
81	札幌西支部	湯澤 武憲	13	0	0	1	2	1	0	0	2	0	6
82		吉田 淳	4	0	0	0	0	6	1	4	0	0	11
83		吉田 幸広	203	6	30	24	10	33	16	15	16	9	159
84		足立 竹秀	9	0	1	1	0	1	0	0	2	0	5
85	小樽支部	澤田 忠宏	46	5	6	2	1	7	4	5	3	35	
86		戸井 三雄	89	1	9	15	2	26	8	4	0	11	76
87		西 正則	12	0	1	1	1	2	1	2	0	2	10
88		奥山 昌弘	20	0	2	4	2	1	2	2	1	1	15
89	函館支部	後閑 慶子	7	0	1	0	0	1	0	1	0	3	
90		佐々木盛一	39	4	4	4	3	7	1	4	1	3	31
91		田村 維之	7	0	1	2	0	2	0	1	0	0	6
92		千田 浩文	6	0	0	0	0	3	0	1	0	2	6
93	空知支部	西谷 裕幸	17	0	1	0	1	0	0	4	2	2	10
94		蛭子井眞市	34	2	1	0	3	9	0	3	6	2	26
95		細川 拓厚	37	0	3	8	2	11	4	0	3	3	34
96		松山 高治	18	1	5	1	2	1	2	2	1	1	16
97	旭川支部	大林 強	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
98		木村 聡	83	2	13	4	3	26	3	5	8	3	67
99		斎藤恵美子	40	0	5	3	3	11	4	5	3	1	35
100		坂本 健人	142	2	31	15	7	35	8	10	7	3	118
101	北見支部	鳴海 敏郎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
102		八幡 吉昭	21	0	5	3	2	5	2	2	0	2	21
103		山田 和訓	96	8	19	11	6	21	2	5	7	8	87
104		薄井タカ子	25	1	4	8	0	5	1	1	2	0	22
105	帯広支部	蝦名 朗太	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
106		尾田 利雄	55	1	13	3	3	14	4	4	5	3	50
107		加藤 一博	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
108		金谷 博光	135	2	22	24	10	36	11	6	10	4	125
109	苫小牧支部	熊谷 益夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
110		小島 拓也	6	0	1	0	0	0	2	0	0	1	4
111		高橋 慎吾	92	2	16	7	6	23	6	9	10	3	82
112		田村 栄章	45	1	15	0	1	14	5	3	2	0	41
113	苦小牧支部	舟橋 馨	2	0	1	0	0	0	1	0	0	2	
114		松井 眞実	12	0	0	2	2	4	1	1	0	1	11
115		渡辺 祐吉	59	0	7	5	5	18	5	2	4	1	47
116		伊東 隆志	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
117	苫小牧支部	井山 等	20	0	9	3	4	7	1	2	1	1	28
118		菅原 雅之	3	1	0	0	0	1	0	1	1	0	4
119		中島 茂幸	7	0	0	1	0	5	1	0	1	0	8
120		南都 正弘	13	2	2	0	1	4	0	0	1	1	11

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和5年実績	令和6年実績									
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
121	北見支部	渡邊 直喜	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
122		井上 理	6	0	0	1	0	5	2	1	0	0	9
123		梅田 勇	105	2	18	11	9	27	6	8	7	6	94
124		河合 敏	182	4	28	17	12	43	12	13	12	6	147
125	帯広支部	佐藤 達徳	124	2	12	7	9	31	7	8	14	6	96
126		砂原 政広	81	0									



人間至る処青山あり

海外ビジネスモニター営業部 佐藤 光作

私がTKC帯広SCGサービスセンターのセンター長として赴任したのが、2009年10月ですので、北海道会を支援させていただいたのは、かれこれ15年前になります。

その節は北海道会の皆さまには大変お世話になりました。当時、小学生だった娘が社会人になっていますので、ずいぶん時がたったと実感しています。単身赴任でしたので、1年に一度、家族が北海道に遊びに来ていましたが、帯広空港で娘が私をみつめて駆け寄ってくるあどけない姿は、残念ながら今の娘からは想像もできません。

東日本大震災の時も帯広でしたので、管轄の事務所は皆無事でしたが、東京の両親や家族の状況がとても心配で、携帯が繋がらないことにやきもきしていたことを覚えています。

帯広センターでは、帯広を中心に釧路や時には根室へ、それぞれ120キロの距離を吹雪の中を車で走破していたことが思い出されます。第33回北海道会秋季大学が帯広で、第36回秋季大学が釧路で開催され、二つの秋季大学を支援できたことは非常にいい経験となりました。北海道の皆さまは仕事も遊びも一所懸命で、私も当時は若く、負けないよう取り組ませていただきました。

今は東京本社で勤務し、海外ビジネスモニター(略称OBM)の営業を通じて、中小企業や中堅大企業の海外現地法人管理の支援をしています。

人生何が起こるか分からないもので、契機は帯広から東京に戻って数年後、独立行政法人中小企業基盤整備機構に出向したことでした。そこで、

中小企業の海外展開を支援する業務に携わらせていただき、グローバル市場の開拓という今までにない視点で仕事をするようになりました。

株式会社TKCでは税理士法など国内法や制度を基にシステムを提供していますので、海外に目を向けるのは旅行ぐらいです。そんな私が実際に海外に渡航して、中小企業が海外に活路を見出すために努力している姿を目の当たりにし、今まで見たことのない世界が広がって見えたのです。

昨年、私が支援させていただいているTKC全国会海外展開支援研究会が10周年を迎え、今年の8月26日～28日、タイ視察研修の中で10周年記念式典が盛大に開催されました。

北海道会からは甲賀伸彦副会長と蝦名和広会員のお二人しか参加いただけませんでしたので、今回の視察研修には多くの北海道会の皆さまの参加をお待ちしています。

釈迦に説法ですが、海外は観光で行くのとはビジネスで行くのでは大きく異なります。大いに刺激を受けていただけること間違いなしです。関与先の未来の発展につなげるために、皆さまも海外にも目を向け、海外市場にチャレンジする企業を支援いただければと存じます。

せっかくですので、OBMについて紹介させていただきます。OBMは、どのような形式の海外会計システムの仕訳データでも読み込むことができ、親会社科目に自動組替えし、摘要まで日本語に翻訳できます。FXシリーズと同じように適時な業績把握を支援できます。



タイ、バンコクにて

多くの会員の方に関与先の売上拡大につながる海外展開支援に携わっていただき、さらに社会から求められる存在でいてほしいと考えています。

OBMの支援対象は海外に現地法人をお持ちの企業、これから現地法人を新規設立やM&Aで増やす企業となります。海外に現地法人を設立する企業は、資金力がある優良企業で、大事な関与先であると想定します。OBMがあれば、そういった

企業に会員の方から経営分析等の支援が可能ですので、ぜひそういった関与先がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談いただければと存じます。

最後に、北海道会の皆さま、職員さま、そしてその関与先企業のますますのご発展を心より祈念しております。このような場をいただき感謝申し上げます。

支部例会 シローちゃんの定期総会 行ってみた

第7回
空知
支部編

「キャッシュレス納付の現状
について、お話ししてきて」
と言われたのに…
忘れちゃいました

苫小牧支部 小林 史郎

お久しぶりです！TKC北海道会苫小牧支部の小林史郎です。「支部例会に行ってみた」シリーズ、今回で何回目になるでしょうか？正直、自分でも覚えていません(笑)。でも今回は、未踏の地、前々から交流のある八幡吉昭支部長が率いる空知支部に突撃してみたいと思います！

お邪魔するその週、なんと3日連続でTKCの行事が！さすがにこれはハードモード。前日の夕方には、システム委員会と中小企業支援委員会の合同委員会があり、その後の懇親会にも顔を出す予定でしたが、地元苫小牧の中小企業家同友会で委員長を務める私が、幹事会で議案を検討しなきゃならず…。札幌にJRで行き、JRで帰り、さらに幹事会後の懇親会もそこそこに切り上げ、8月8日の支部総会に向けてエネルギーを蓄えておきました。

昨年、帯広で開催された秋季大学の懇親ゴルフ大会から、空知支部の坂本健人会員とゴルフで仲良くさせてもらっています。そんな坂本会員のお膳立てで、支部総会前に懇親ゴルフ大会が開かれることに。場所は坂本会員行きつけの新奈井江カントリークラブ。私のゴルフパートナーは坂本会員、大和ハウス工業株式会社の高田英博支社長、大同生命保険株式会社の野原潤一さんという豪華メンバー。炎天下で汗だくになりながら、前半はまさかの自己ベストハーフ53！後半はプレッシャーに負けてスコア61と尻すぼみでしたが、同じ組の坂本会員とまさかの同スコア。これからも、札幌東支部のゴルフの達人、宮下直樹会員を目指して修行を続けます！

ゴルフを終えて、いざ空知支部の総会へ！…と思いきや、道に迷ってしまい、会場である「ホテル三浦華園」に5分ほど遅刻。総会に途中参加するというまさかの展開です(汗)。しかし、出席者の顔ぶれを見て一安心。札幌からは本間貴久会長、菅野浩副会長、大同生命の下村利文支社長、野原さん、大和ハウスの松岡嶺さん、TKC旭川サービスセンターの齊藤将基センター長、SCGの齋藤友哉さん、沖大我さんが参加。人数は少なめですが、空知支部には以前から知っている方が多く、気楽な気分に参加できました。

総会自体は滞りなく進行し、全員賛成で事業報告や決算報告、翌年度の事業計画が無事承認。その後、本間会長から「TKC北海道会はシステムだけで結ばれている会じゃなく、税理士業界を1つでも2つでも良くしようとする団体。税務署や金融機関から一目置かれる存在でなければならない」という熱いお言葉をいただきました。やる気がみなぎり！その後の提携企業からの報告もサクサク進み、ついに待望の懇親会へ突入です！

懇親会は、空知支部の木村聡副会長の乾杯でスタート。炎天下のゴルフの後に飲むビールのおいしさといったら、まさに格別！そして、懇親会で本間会長にゴルフのスコアを報告したら、「ちゃんと計測したの？ボール投げてないよね？」とニヤリ(笑)。ゴルフの話で盛り上がりつつ、苫小牧のゴルフ場の話題でも大林強会員と意気投合。今度一緒に回りましょうとお約束。おいしい料理と楽しい会話で、私のテンションはどんどん上がりっぱなし！知って



懇親会の様子

いる空知支部の会員も多く、改めて交流を深めるいい機会になりました。

懇親会が最高潮に達したところで、大同生命の下村支社長が中締め。でも、ここで終わるわけがない！2次会は「フォルテシモ」というお店に移動し、さらに盛り上がります。懇親会で話せなかった本間会長や木村副会長、大同生命の野原さん、大和ハウスの松岡さん、そして懇親会後に解禁になった坂本会員とも、しっかりと交流を深めました。相当はしゃいでいたのは自覚していますが、皆さま温かく見守ってくれて、空知支部出入り禁止にはならずに済みました(笑)。

その後も勢いは止まらず、3次会の「Rera2」ではカラオケで熱唱。さらに4次会では、八幡支部長、坂本会員、野原さんと一緒に居酒屋「魚一」へ。名物の牛乳ラーメンと、いつものようにビールを注文。せっかくの美味しいラーメンでしたが、すでに記憶はあやふやなまま、三浦華園のベッドに倒れ込みました。翌朝、目が覚めるとスーツのままです(笑)。

空知支部の皆さま、盛り上がりすぎた私を最後まで見守っていただき、本当にありがとうございました。感謝の気持ちを込めて、苫小牧の名物「よいとまけ」をお送りしましたので、ぜひご賞味ください。またお会いできる日を楽しみにしています！



2次会の様子



3次会の様子



4次会の様子

広報委員長 坂本 文彦 Fumihiko Sakamoto

税理士会の支部だよりにこの前書いたけれども、ここにもぜひ伝えたい。

バブル期の就職なのに、まじめに就活しなかったの、何となく不動産会社に勤めた。が土日休みではない、給料が安いとの理由で転職活動。転職フェアで見つけた会社が休み土日、給料が高いということであっさり転職、それがこの前職の話。二つ目の仕事。

それは某薬品会社の東京支店の営業。最初は食品事業部に配置され、書き入れ時の夏は土日交代でスーパーに駆け出され、試飲販売。この時点で話が違ふ。成績がパツとしなかったのか、半年で配置転換。配置事業部へ。配置、配置と何か文章がややこしいが、つまりは配置薬の部署へ。

当時25歳。新人みたいなもの。何やる？あくまでも配置薬のメーカー。富山の薬売りへ卸す立場。メーカーとしてはどうすれば、売り上げが上がるか。そう、その富山の薬売りの人(代理店)の顧客が増えれば、メーカーとしての売り上げも増える。つまりは新人みたいな人は何を。新規開拓でしょ。

東京支店の管轄は、東京、埼玉、神奈川、千葉、栃木、山梨、長野、新潟、群馬だろうか。1週間ずつその代理店へ行き、新規開拓。毎日事業所、個人宅への訪問。朝から晩までピンポン、ピンポン。1日数十件なのか100件を超えていたのか、数えたことはないけど。今じゃ、パワハラ以外の何物でもない上司のきつい言葉、ノルマが1日5件の中「おまえら100軒回れば5件ぐらいとれるんじゃ。お前ら何さぼっとんじゃ(大阪が本社のためその上司は西の人)」

基本怒られるのは、出張先からの朝の電話報告。会社に電話をして、総務の女性が出、「今日〇〇部長出かけていません」の言葉に

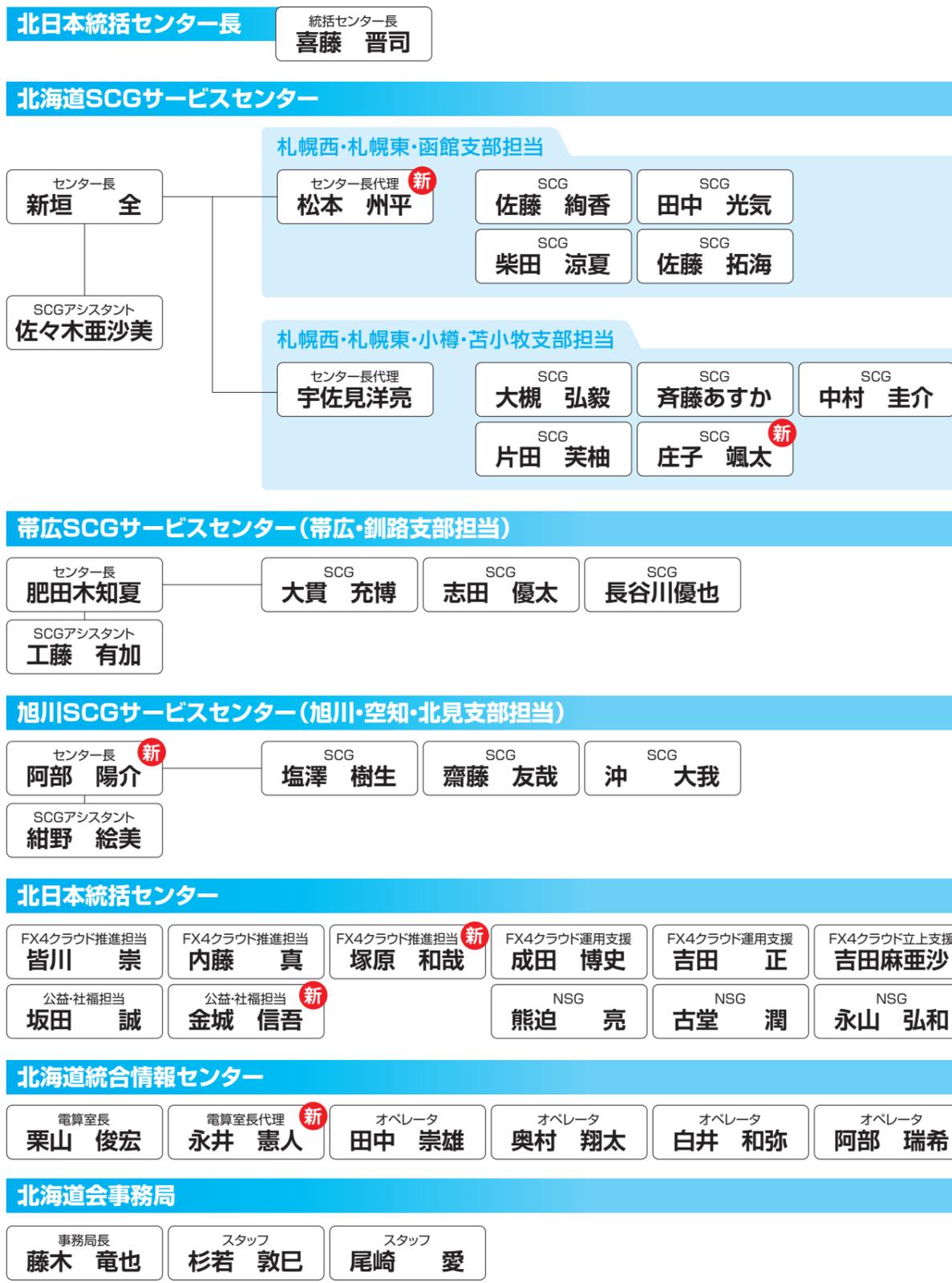
ホッとするや否や、「△△さんに代わります」「なんじゃその数字は、このぼけっ(と言ったか言わないか)」

そんな配置事業部生活(出張ばかりなので、東京の寮へは遊びに行くという感覚になる)は3年続いた。その3年での3大びっくり話で締めたいと思います。

- 1 K県Y市のある雑居ビルの一室へ。営業トークを展開して、ふと視線を左斜めにやるとたくさんの小さめの提灯がならんでいた。優しいおじさんは配置薬を置いてくれた。が、この後の営業は代理店の人が行くことになるので、シャレにならないと思ひ、やっぱり引き上げてきた。一粒で2度怖かった。
- 2 T県の片田舎。畑の中の立派なお宅へ営業。こんにちは。数人の若い衆が立派な玄関先へ。基本営業トークはどんな状況でも展開してしまうので、止められない。終わると、その中の一人が「姉(あね)さん！」と振り返り、姉さん登場。この時点でかなり腰が引けていたので、無理強いはずせず退散。玄関先の看板によやく気付き、それ金色。
- 3 S県でのこと。その日はノルマが行かずたぶん6時を過ぎていた。小さめの借家へ飛び込んだ(借家、小さめ。置いてくれる確率が高い)。おじさんが対応。やっぱりビンゴ。成功。あやっ。半袖からこんにちはしているその柄は何？原色のそれは、それ。急いで帰ろう。ところが「おい、飯食ってけ」「(はっ?)」「おい母ちゃん、飯用意しろ」用意されたおにぎりとみそ汁を正座して食べ(何か言っていたけど、何も入ってこない)、そそくさとその場を立ち去りました。その頃の私に伝えたい。私は今日ここで無事に生きています。

令和6年10月 株式会社TKCの支援体制

TKC北海道会と会員事務所を全力でご支援します!



北海道会 会務動向

令和6年
9月

日	行事名
3	共済研修「倒産防止共済(制度編)」
4	現場力養成講座
5	共済研修「倒産防止共済(手続編)」
6	共済研修「中小企業退職金共済(制度編)」
9	共済研修「中小企業退職金共済(手続編)」
9	帯広支部総会
10	苫小牧支部総会
11	北見支部秋季大学実行委員会
11	原点の会(会員)
12	原点の会(職員)
13	正副会長会
17	企業防衛制度推進委員会
18	租税判例研究会
18	資産対策研究会
20	札幌東支部総会
20	札幌西支部総会
20	北海道会総会
25	北医研研修会

令和6年
10月

2	システム委員会
2	企業防衛制度推進委員会
2	巡回監査・事務所経営委員会
2	書面添付推進委員会
2	ニューメンバーズ・サービス委員会
2	広報
2	委員会合同夕食会
3	支部長会議
3	研修所会議
3	リスクマネジメント制度推進委員会
3	中小企業支援委員会
3	共済制度推進委員会
3	資産活用委員会
3	秋季大学
10	理念研修
11	企業防衛制度推進委員会 マスターズ会
15	函館支部例会
16	正副会長会
18	広報委員会
23	札幌東支部例会
23	書面添付プレミアムセミナー
30	理事会
30	顧問・相談役・参与会

編集後記 羊ヶ丘のふもとから〇〇を叫ぶー編集後記に代えてー

editor's note

今、税理士会で生成AIの研修を受けている。これは恐ろしいことになるかも。いやなるらしい。使い方次第では、業務の効率化というレベルではなく、すっかり様変わりする。

この『かいほう』での校正作業や原稿作成だって、今のレベルでもある程度できる。音楽だって、画像だって、データ解析だってできてしまう。給与規定の法的修正だって。いつぞや、将来なくなる職業の中に、事務作業・データ入力などなどあったが、この現実に近い、いやもう来ている。意味合いが違うかもしれないが、コンビニ、ファミレスの店員もいない。それにわれわれの業界だって同じ穴のムジナ。どこまで進化していくのか。本当に人間を追い越していく日は来るのか。追い越されるまでは、これらを利用して、業務を効率化して、お客さまのためにまい進するだけである。

「上記の文章を大阪弁で、かつ税理士業界に警鐘を鳴らすように書き換えてください」という指示で、AIに文章を生成してもらいました。結果は以下の通りです。

今、生成AIがどんどん進化してきてるけど、これが税理士業界にも大きな影響を与えるのは時間の問題やで。もう、文書の校正や原稿作成、データの分析なんかもAIでできるようになってきてるし、事務作業とかデータ入力なんかの仕事がなくなる言われてた未来が、もう目の前に来てるっちゃうことや。

ウチら税理士の仕事も、AIに取って代わられる可能性があるんちゃうか？例えば、税務申告や帳簿整理とか、今まで時間かけてやってたことが、AIで自動化されたら、ウチらが今までやってきた仕事の価値がどないなんねんって話やで。これ、ほんまに真剣に考えなアカン問題や。

せやけど、AIが人間を完全に追い越すかっちゃうたら、そうでもあらへん。逆に、AIをうまいこと活用して、ウチらがもっと効率的にお客さんに価値を提供できるようになる、そこがカギやと思うねん。人間にしかできへん部分、例えばお客さんとの信頼関係を作ることとか、複雑な問題に対しての意思決定をサポートすること、そういうところに集中していかな、アカンと思うわ。

このまま何もせんとかボーッとしてたら、AIに追い越される日もそう遠ないかもしれへん。でも、うまいこと使いこなして、仕事の効率化を図りつつ、もっとええサービスを提供できるように努力するんが、これからの生き残りの道やで。業界全体でこの問題に対して危機感を持って、しっかりと考えていかなアカン時期に来てるわ。

※AIが生成した文章は、言葉使いの修正や漢字・平仮名の統一などはせず、なるべく原文そのままにしております。

(広報委員長 坂本 文彦)